授業外学修時間に関する調査報告（概要）

2019 年 9 月

駿河台大学ＩＲ実施委員会

１．概要

教育の質の向上の一環として、「学生の主体的な学修」の涵養が求められている中で、本学においては、学生委員会が実施する「学生生活基本調査」において、学修行動に関する設問を設けて調査を行い、その結果を「駿河台大学ニュース」等で学内外に公表している。

今回の調査では、学部・学年ごとの分析に加え、ＧＰＡや授業出席率といった他の指標や入試区分による分析も行い、前年度調査と比較したうえで、学生の状況を認識するとともに、入学選抜の妥当性を検討するための基礎資料として活用するために、調査を実施し、その結果を報告する。

２．集計・分析

（1）概要

実施期間：2018 年 10 月 8 日（月）から 10 月 25 日（木）まで

調査対象者：全学年演習科目　在学生 3,542 名　　回答総数：1,731 名（提出率 48.9%）

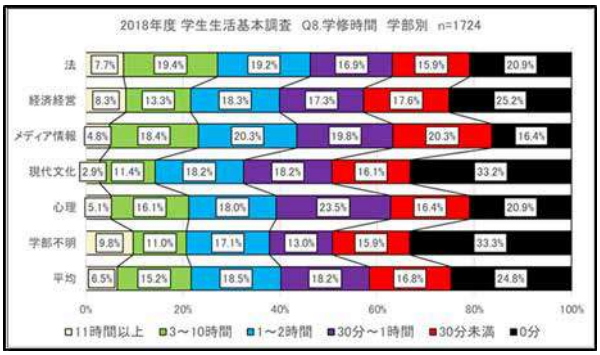
（2）学部別・学年別集計

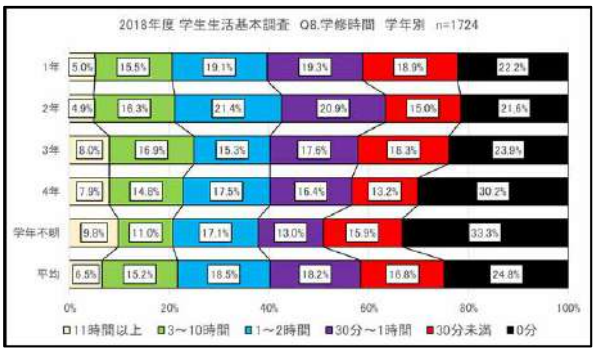
選択肢 8 は『授業以外の学修に週に平均どの位の時間をかけていますか』を問うているが、全体の 1/4 が「0 分」を選択しており、2 時間以下が 78.0%であった。

2018 年度における平均履修科目数が 20.2 科目（教職課程等卒業要件外科目、単位認定科目も含む）であることを考えるとかなり少ない時間を回答している。

学部別では、現代文化学部の時間数が少ないこと、前年比較では、わずかながら時間数は増えていることが挙げられる。

学年別に見ると、学年が進むについて、「0 分」の割合が増加しているが、「11 時間以上」の割合も微増している。履修科目数が 1.2 年次では 20 科目を超えているが、3.4 年次生では履修科目数が少なくなり、特に 4 年次生では必修演習のみの学生（21.4%）がいることが要因と考えられることから、高学年程、1 科目にかける時間の割合は高くなっていると言える。





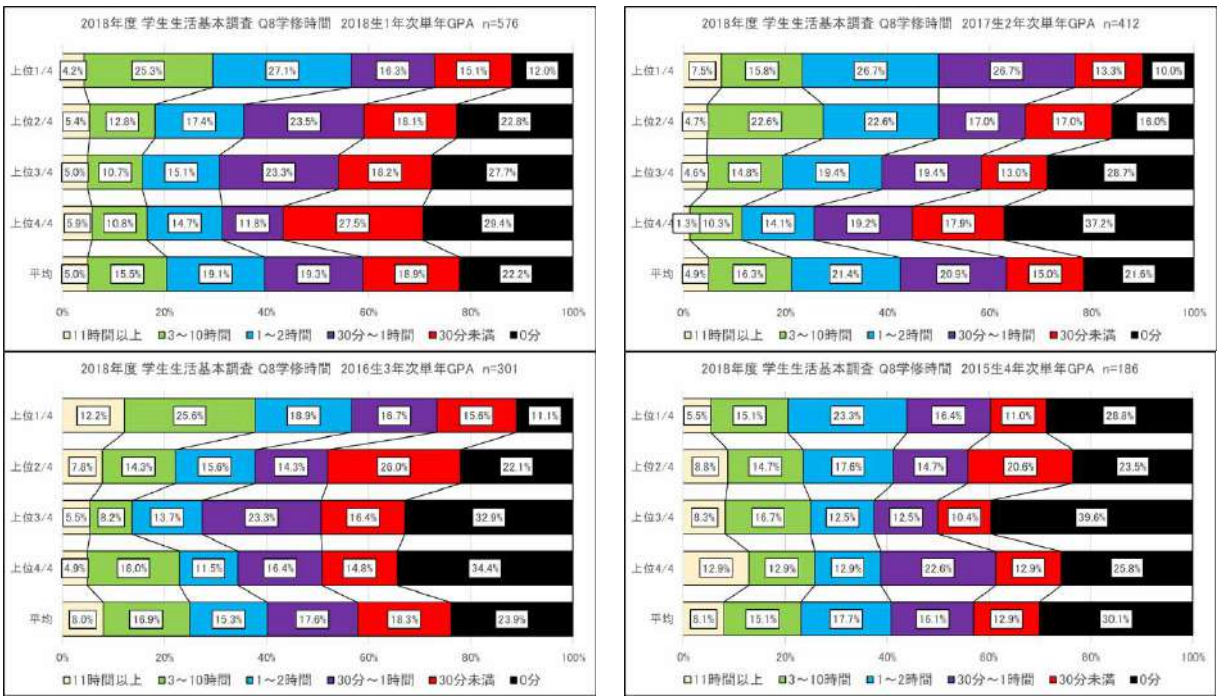
（3）ＧＰＡ順位別集計

1 年次における「11 時間以上」の割合については、ＧＰＡ順位での差は見られないものの、「30 分未満」「0 分」については、上位と下位で明確な差が見られる。また、上位 1/4 については「1～2 時間」「3～10 時間」でそれぞれ 10%程度の差が見られる。

2 年次では、1 年次に比べて、よりＧＰＡ順位に沿った結果となっている。

3 年次では、ＧＰＡ順位と授業外学修時間は比例している

4 年次については、4 年次演習 4 単位のみの受講者も多いこと、成績下位者ほど多くの科目を履修している場合があることから、必ずしもＧＰＡ順位と比例していない。



（4）出席率別

3 時間以上の割合に差は見られないが「0 分」については、1/4 で 16.1%が 4/4 では 32.0%と差が見られる。学年別では 1～3 年次では概ね出席率に比例した結果となっているが、4 年次については出席率による差は見られない。

（5）入試区分別

ほぼ全員が留学生である特別入試及び編入転部者の学修時間が他の区分に比べ長いことが挙げられる。入試区分では一般入試で 1～10 時間の割合が高く、ＡＯ入試では「0 時間」の割合が高くなった。

（6）個人別学修時間の推移

2017 年度調査、2018 年度調査ともに設問 8 において有効回答を得た 572 名について、学修時間の推移を確認した。1 年から 2 年、2 年から 3 年では学修時間増を回答した者の方が多いものの、3 年から 4 年では学修時間が減少した者の方が多い。

３．まとめ

2017 年度の学生生活基本調査に学修行動に関する設問を追加した際に、1 日単位の学修時間から 1 週単位の学修時間を問う設問に改めるとともに、「授業以外の学修例」を設けて、回答する学生がイメージをし易いように工夫をしたところだが、履修科目数に比べ、授業外の学修時間が少ないという結果となった。

学部別では現代文化学部、学年別では 1 年次生、ＧＰＡ順位別では順位の低い者、出席率別では 1 から 3 年次生について出席率の低い者、入試区分別ではＡＯ入試で時間数が少なくなっている。

シラバスにおいて授業外学習についての項目が設けられているが、授業形態に応じて、授業外学習を促すような予習復習、課題の設定等を工夫する余地があると思われる。

以上

授業外学修時間に関する調査報告

2019 年 9 月

駿河台大学 IR 実施委員会

１．概要

教育の質の向上の一環として、「学生の主体的な学修」の涵養が求められている中で、本学においては、学生委員会が実施する「学生生活基本調査」において、学修行動に関する設問を設けて調査を行い、その結果を「駿河台大学ニュース」等で学内外に公表している。

今回の調査では、学部・学年ごとの分析に加え、ＧＰＡや授業出席率といった他の指標や入試区分による分析も行い、前年度調査と比較したうえで、学生の状況を認識するとともに、入学選抜の妥当性を検討するための基礎資料として活用するために、調査を実施し、その結果を報告する。

２．集計・分析

(1) 2018 年度学生生活基本調査の概要

実施期間：2018 年 10 月 8 日（月）から 10 月 25 日（木）まで

調査対象者：全学年演習科目　在学生 3,542 名

回答総数：1,731 名（提出率 48.9%）

なお、調査対象者の基本属性を学籍番号だけで把握しているため、学籍番号未記入 247 名（回答総数の 14.3%）に関しては、所属学部、学年のいずれについても不明となった。

学部	1 年	2 年	3 年	4 年	過年度	学年不明	計
法	143	115	84	63			405
経済経営	120	70	59	31			280
メディア情報	65	59	47	35	1		207
現代文化	106	79	64	31	1		281
心理	143	91	50	26	1		311
学部不明						247	247
計	577	414	304	186	3	247	1731

(2) 学生生活基本調査における該当設問

設問 8　あなたは、授業以外の学修に週に平均どの位の時間をかけていますか。

（授業以外の学修例：予習、復習、調査、ゼミ発表の準備、相談、質問、友人との話し合い など）

1. ２０時間以上	2. １６～２０時間	3. １１～１５時間	4. ６～１０時間	5. ３～５時間
6. １～２時間	7. ３０分～１時間	8. ３０分未満	9. ０分	

(3) 本調査における母数

授業外学修時間に関する分析に際しては、設問 8 の有効回答である 1,724 件を、他の指標とのクロス集計では、学籍番号が有効である 1,478 件を用いた。

また、回答数を均等化させるために、選択肢 1-3、選択肢 4.5 をまとめて集計した。

(4) 2017 年度学生生活基本調査の概要

学生生活基本調査については、2017 年度に学修行動に関する設問を改定したため、比較対象として前年度の概要を以下に示す。

実施期間：2017 年 10 月 9 日（月）から 10 月 26 日（木）まで

調査対象者：全学年演習科目　在学生 3,275 名

回答総数：1,770 名（提出率 54.0%）

設問 8 の有効回答 1,749 件

学籍番号有効回答：1,516 件

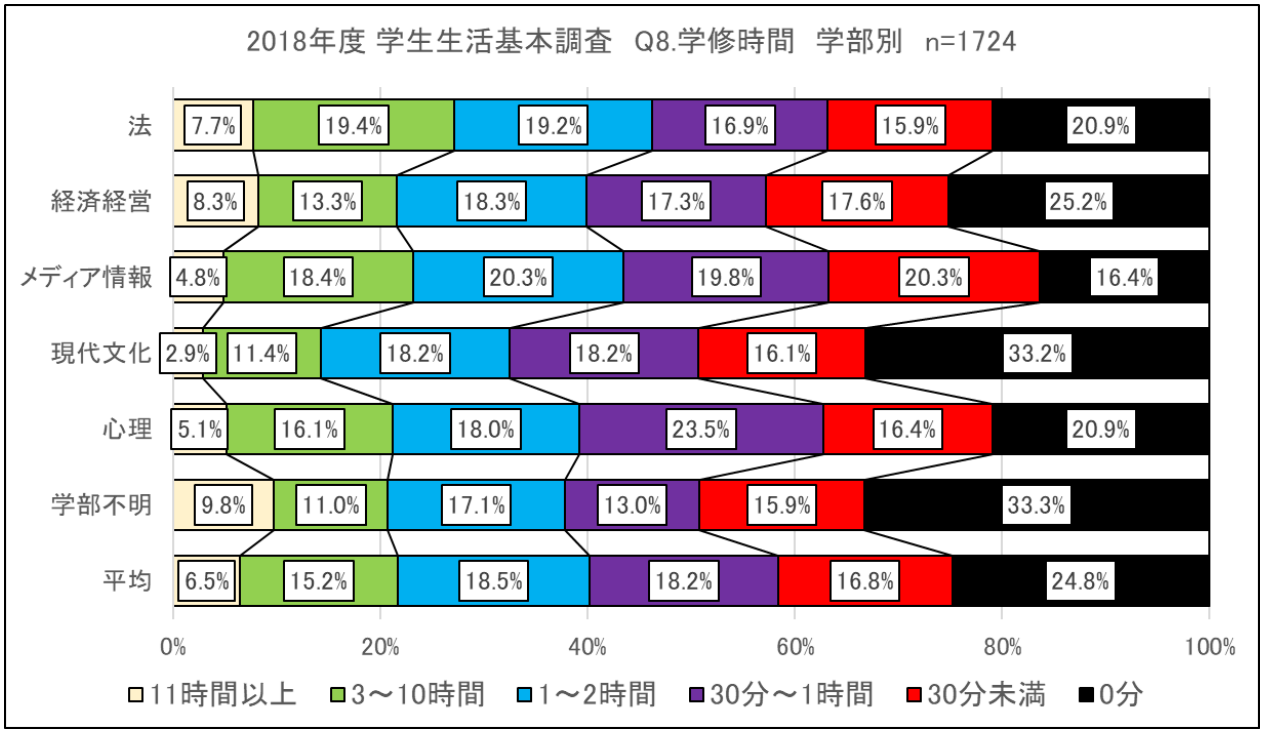
３．結果概要

（1）学部別集計

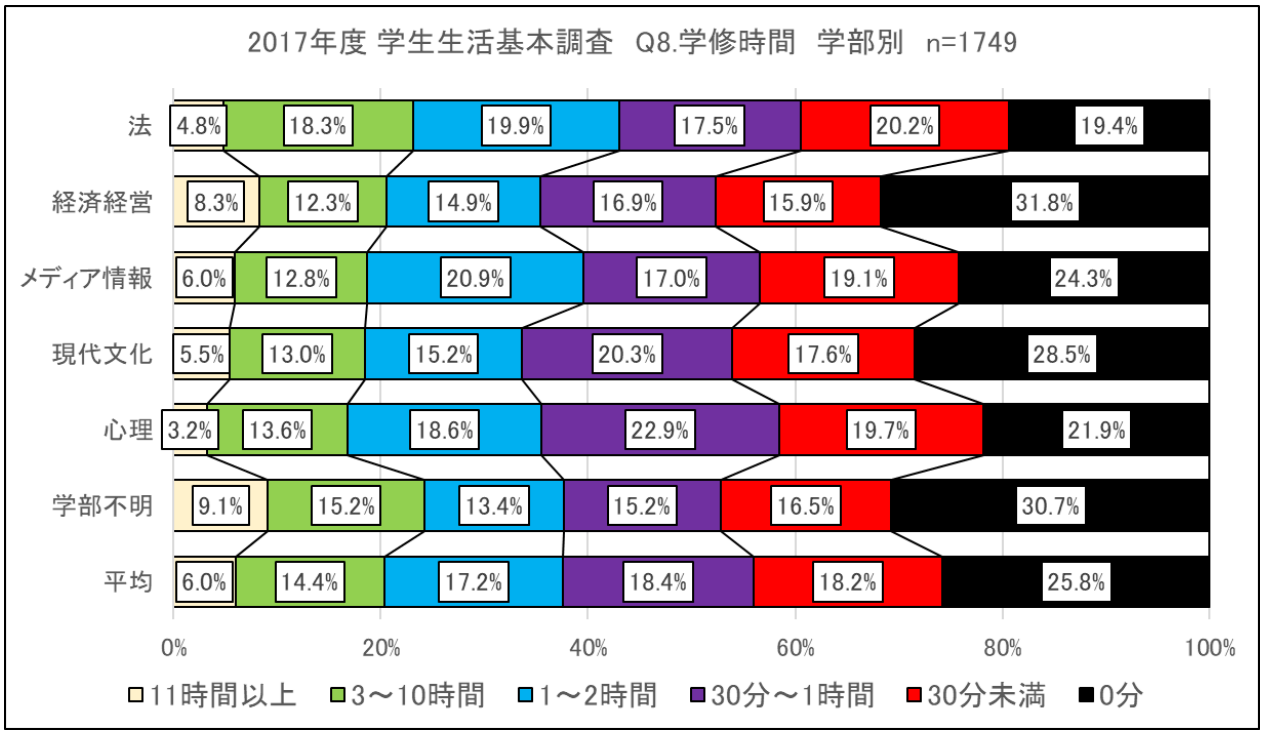
選択肢 8 は『授業以外の学修に週に平均どの位の時間をかけていますか』を問うているが、全体の 1/4 が「0 分」を選択しており、2 時間以下が 78.0％であった。

2018 年度における平均履修科目数が 20.2 科目（教職課程等卒業要件外科目、単位認定科目も含む）であることを考えるとかなり少ない時間を回答している。

学部別では、現代文化学部の時間数が少ないこと、前年比較では、わずかながら時間数は増えていることが挙げられる。



参考）2017 年度調査



(2) 学年別集計

学年別に見ると、学年が進むについて、「0 分」の割合が増加しているが、「11 時間以上」の割合も微増している。履修科目数が 1.2 年次では 20 科目を超えているが、3.4 年次生では履修科目数が少なくなり、特に 4 年次生では必修演習のみの学生（21.4%）がいることが要因と考えられることから、高学年程、1 科目にかける時間の割合は高くなっていると言える。

また、学部・学年別で前年度との比較を行ったところ、学部・学年により、差異はあるものの全体的には大きな差は見られないと考えられる。

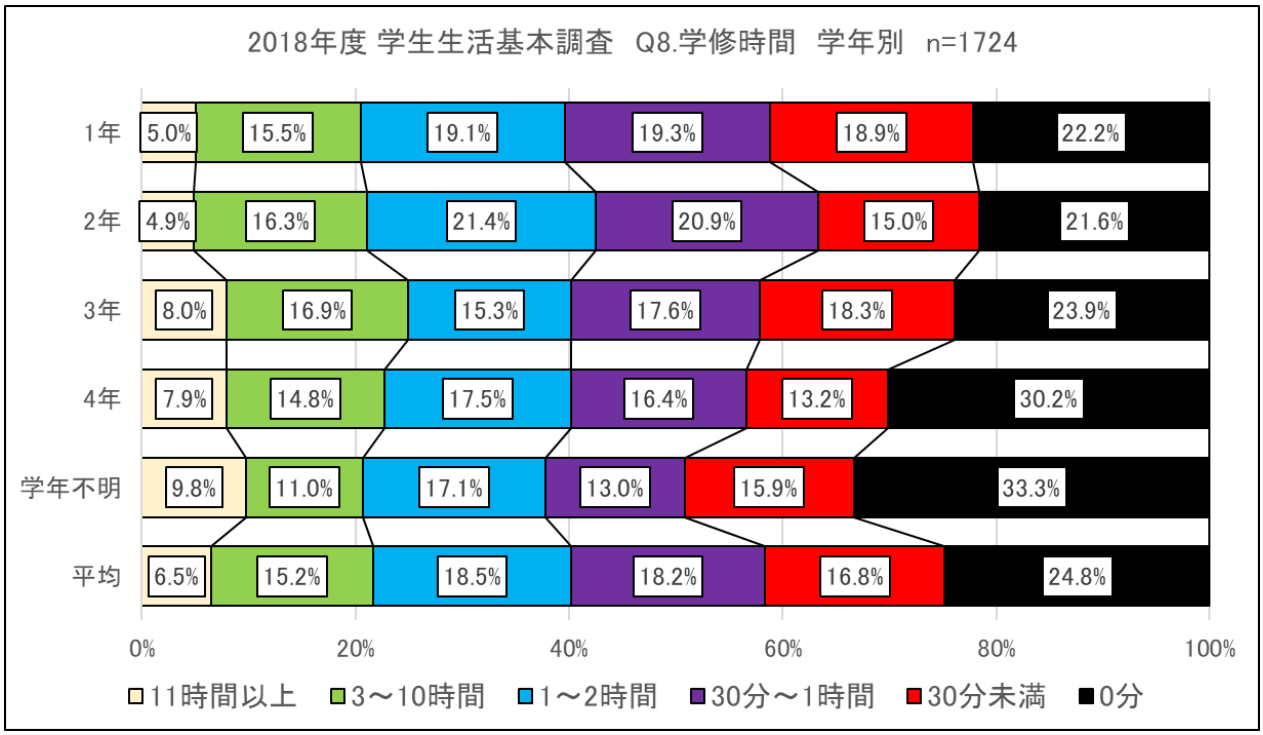
2018 年度調査回答者における履修科目数

履修科目数	1 年	2 年	3 年	4 年	計
01-03 科目				90	90
04-06 科目				40	40
07-09 科目				17	17
10-12 科目		1	14	12	27
13-15 科目			79	7	86
16-18 科目			54	3	57
19-21 科目	1	20	66	10	97
22-24 科目	34	236	70	10	350
25-27 科目	354	104	14		472
28-30 科目	155	27	2		184
31-33 科目	32	24	2		58
計	576	412	301	186	1478

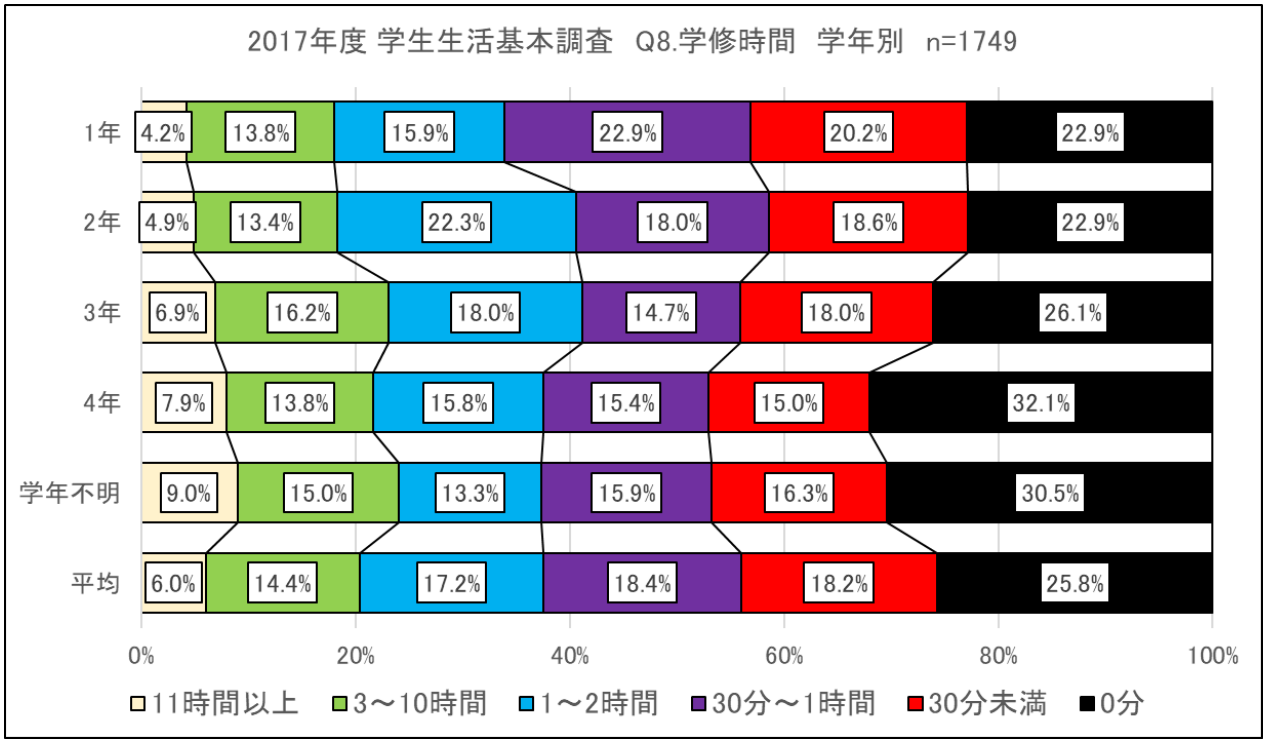
※ 教職課程等卒業要件外科目、単位認定科目も含む

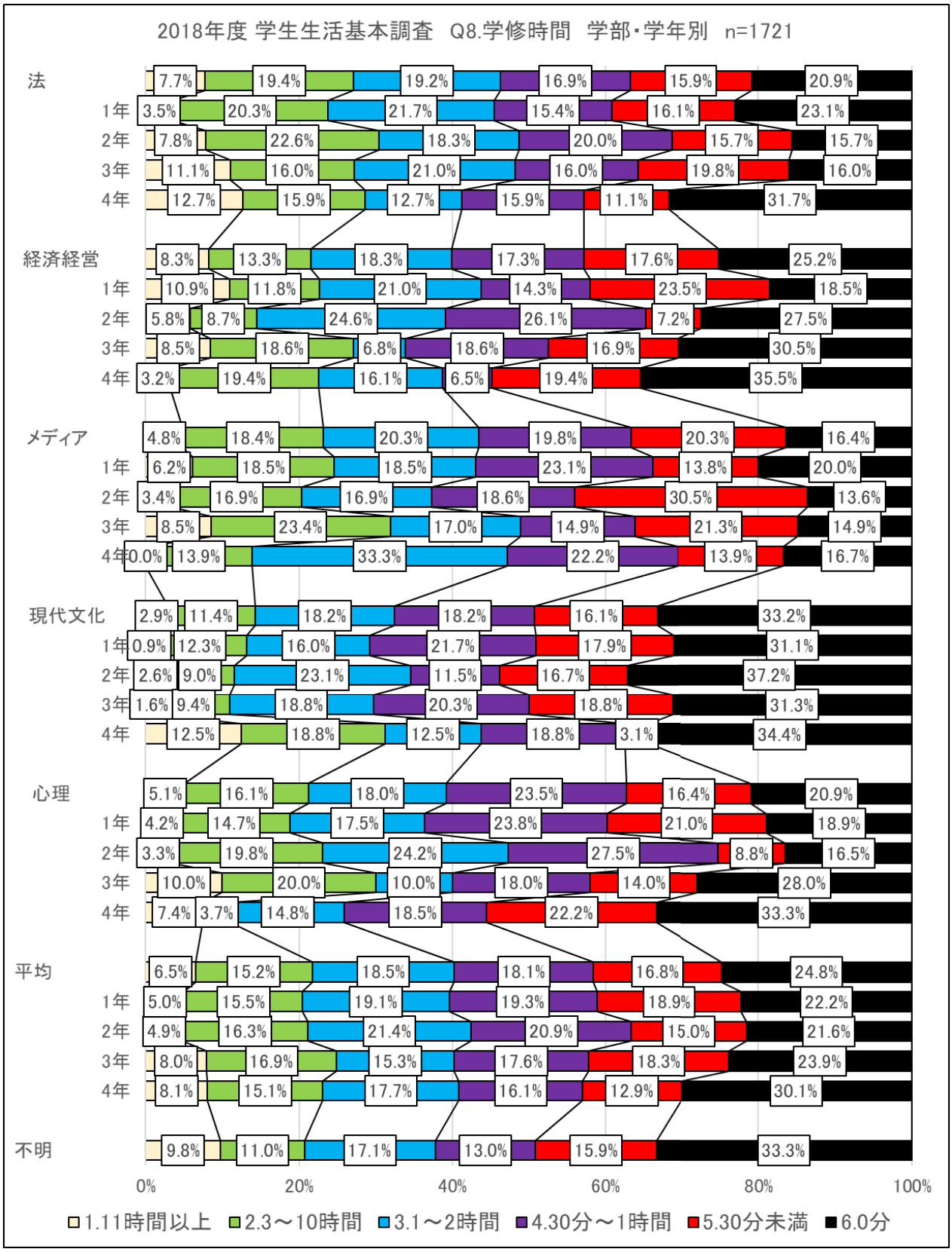
2018 年度学年別平均履修科目数

入学年	学年	平均履修科目数
2018 年度	1 年次	26.9 科目
2017 年度	2 年次	24.4 科目
2016 年度	3 年次	18.7 科目
2015 年度	4 年次	7.1 科目
平均		20.2 科目


2018年度 学生生活基本調査　Q8.学修時間　学年別　n=1724
1年
5.0%
15.5%
19.1%
19.3%
18.9%
22.2%
2年
4.9%
16.3%
21.4%
20.9%
15.0%
21.6%
3年
8.0%
16.9%
15.3%
17.6%
18.3%
23.9%
4年
7.9%
14.8%
17.5%
16.4%
13.2%
30.2%
学年不明
9.8%
11.0%
17.1%
13.0%
15.9%
33.3%
平均
6.5%
15.2%
18.5%
18.2%
16.8%
24.8%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
11時間以上
3～10時間
1～2時間
30分～1時間
30分未満
0分

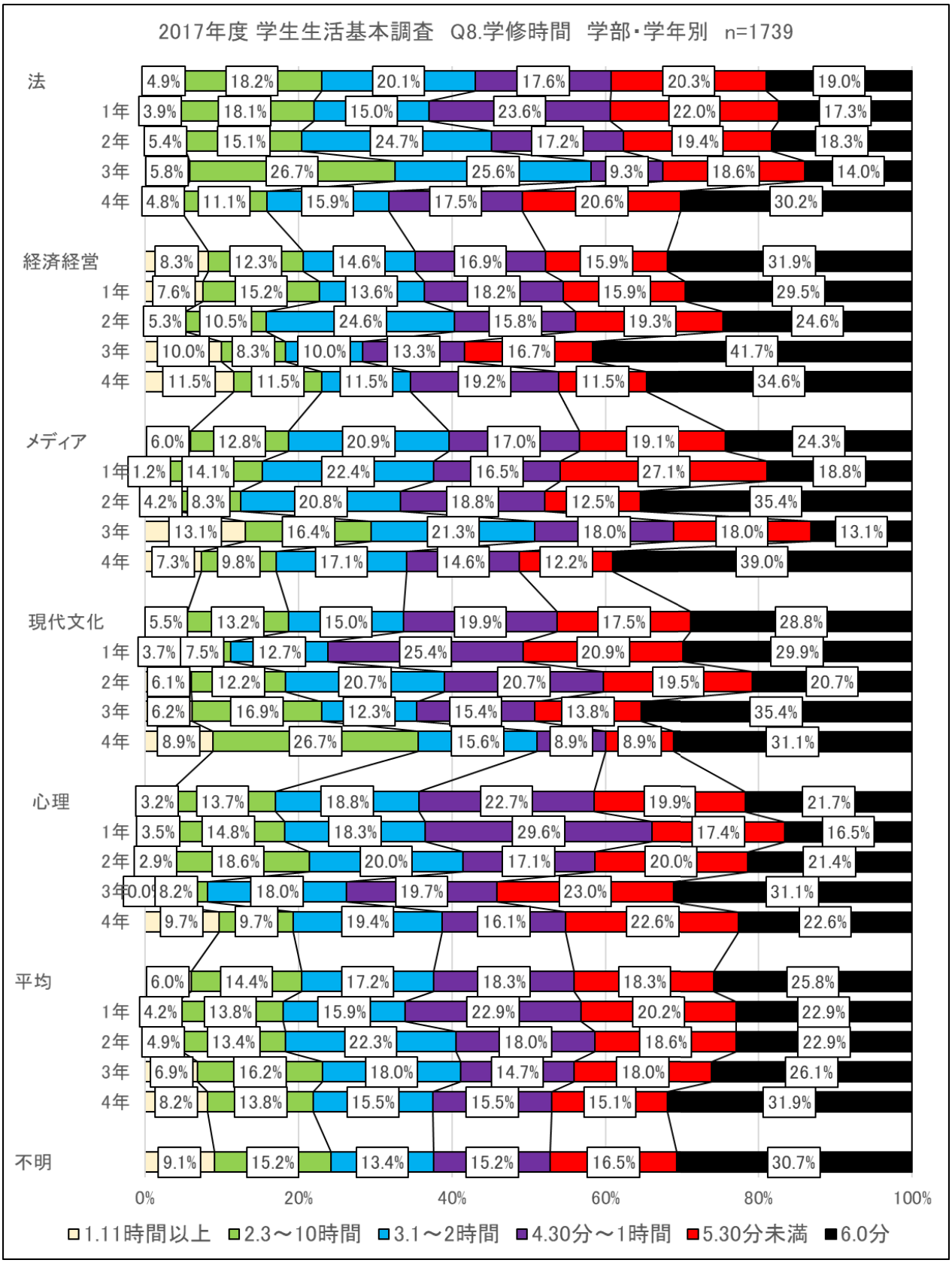
参考）2017 年度調査


2017年度 学生生活基本調査　Q8.学修時間　学年別　n=1749
1年
4.2%
13.8%
15.9%
22.9%
20.2%
22.9%
2年
4.9%
13.4%
22.3%
18.0%
18.6%
22.9%
3年
6.9%
16.2%
18.0%
14.7%
18.0%
26.1%
4年
7.9%
13.8%
15.8%
15.4%
15.0%
32.1%
学年不明
9.0%
15.0%
13.3%
15.9%
16.3%
30.5%
平均
6.0%
14.4%
17.2%
18.4%
18.2%
25.8%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
11時間以上
3～10時間
1～2時間
30分～1時間
30分未満
0分



※　４年生には過年度生３名を含まない。

参考）2017 年度調査



※ 4 年生には過年度生 8 名を含まない。

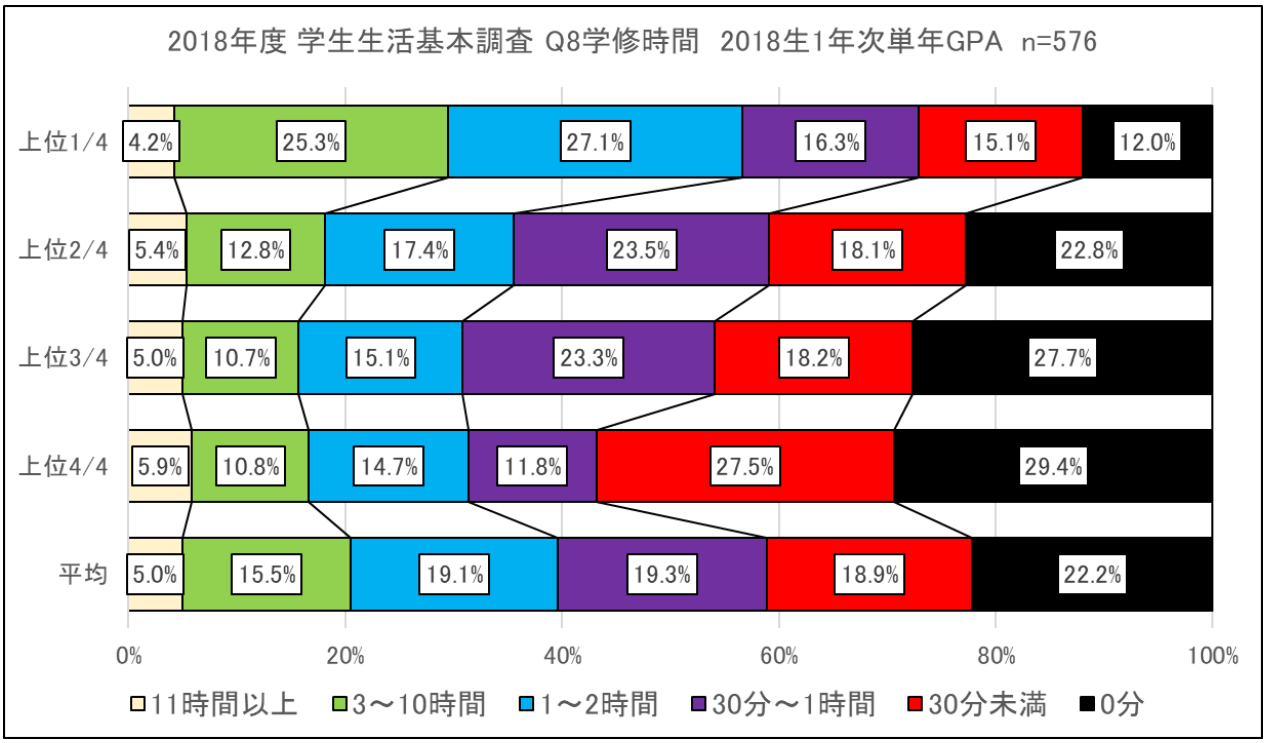
（3）ＧＰＡ順位別集計

①　１年次

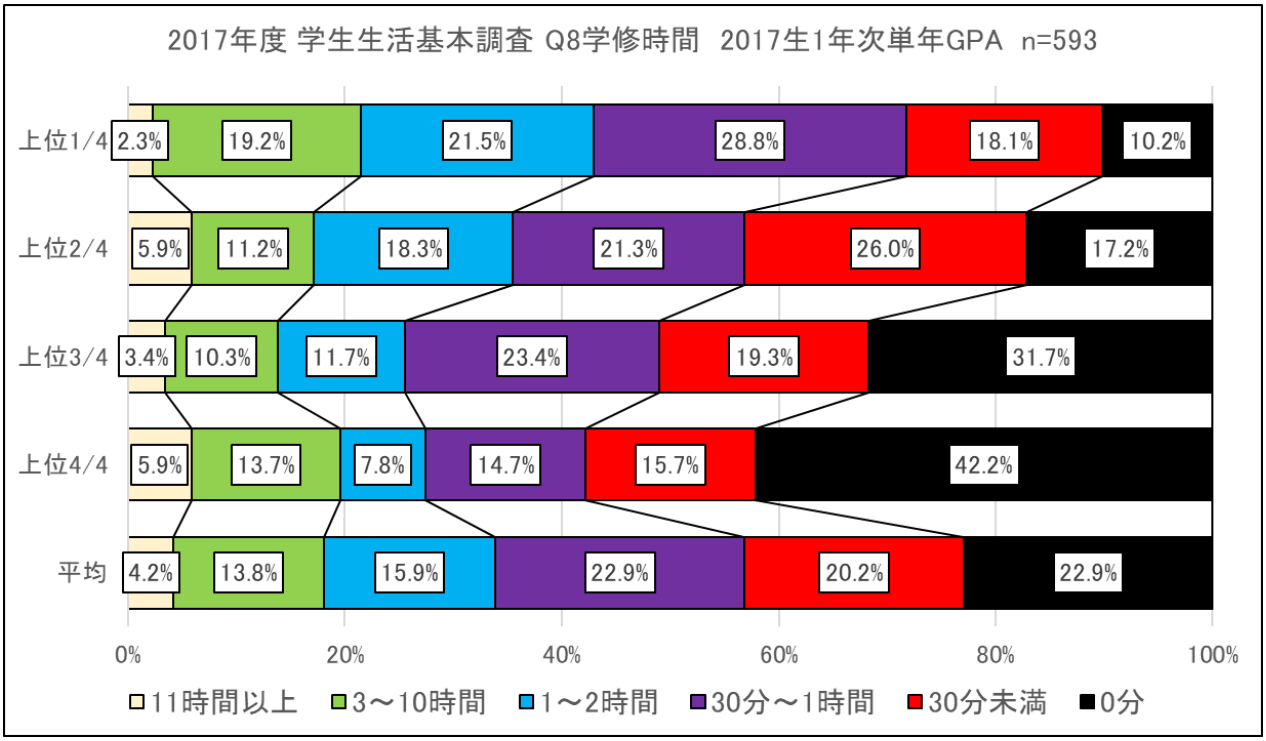
学籍番号で特定できる回答について、学部・学年ごとのＧＰＡ順位別に集計を行った。

「11 時間以上」の割合については、ＧＰＡ順位での差は見られないものの、「30 分未満」「0 分」については、上位と下位で明確な差が見られる。また、上位 1/4 については「1～2 時間」「3～10 時間」でそれぞれ 10%程度の差が見られる。なお、母数は 1/4 が 166 名、2/4 が 149 名、3/4 が 159 名、4/4 が 102 名と差がある。

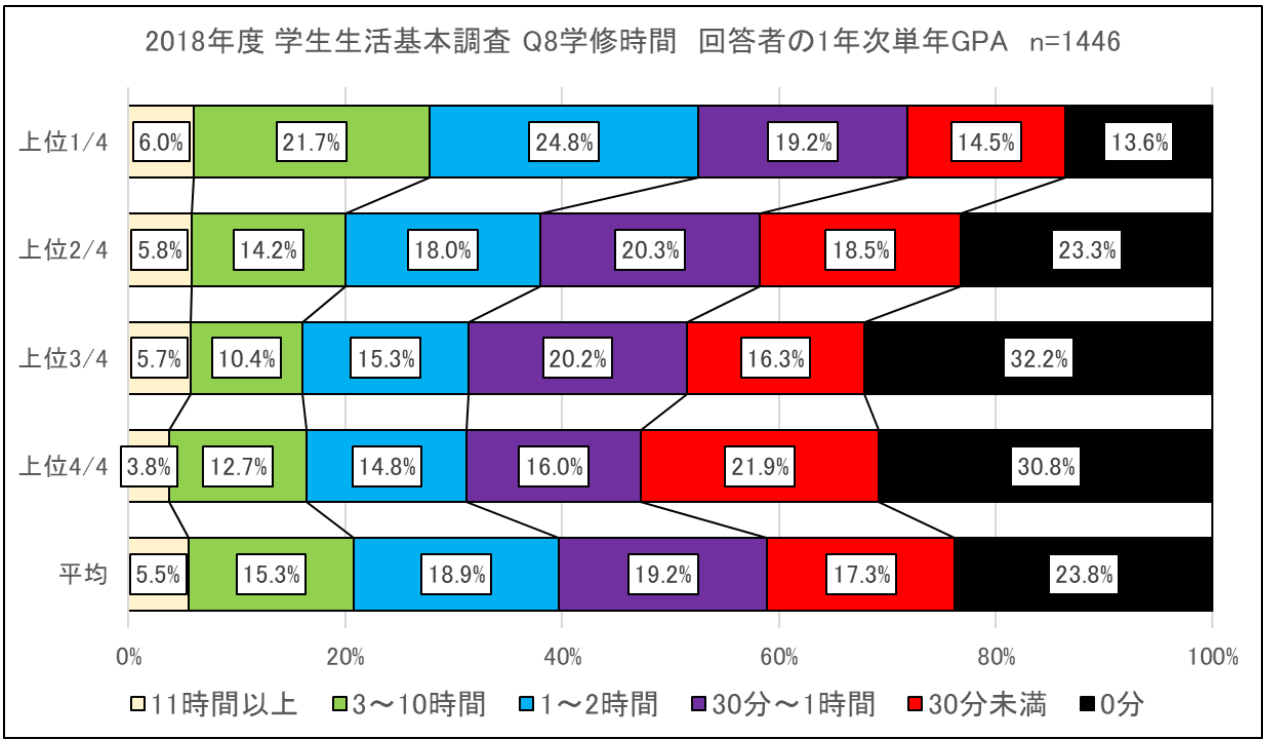
また、2016 年度に行った「学業成績追跡調査」において、4 年間の成績における 1 年次ＧＰＡ順位の相関が高いという結果が出ていることから、母数を増やして精度を高めるため、参考として、調査対象者 1446 名における 1 年次のＧＰＡ順位による集計も行ったが、ほぼ同様の結果となった。



参考）2017 年度調査



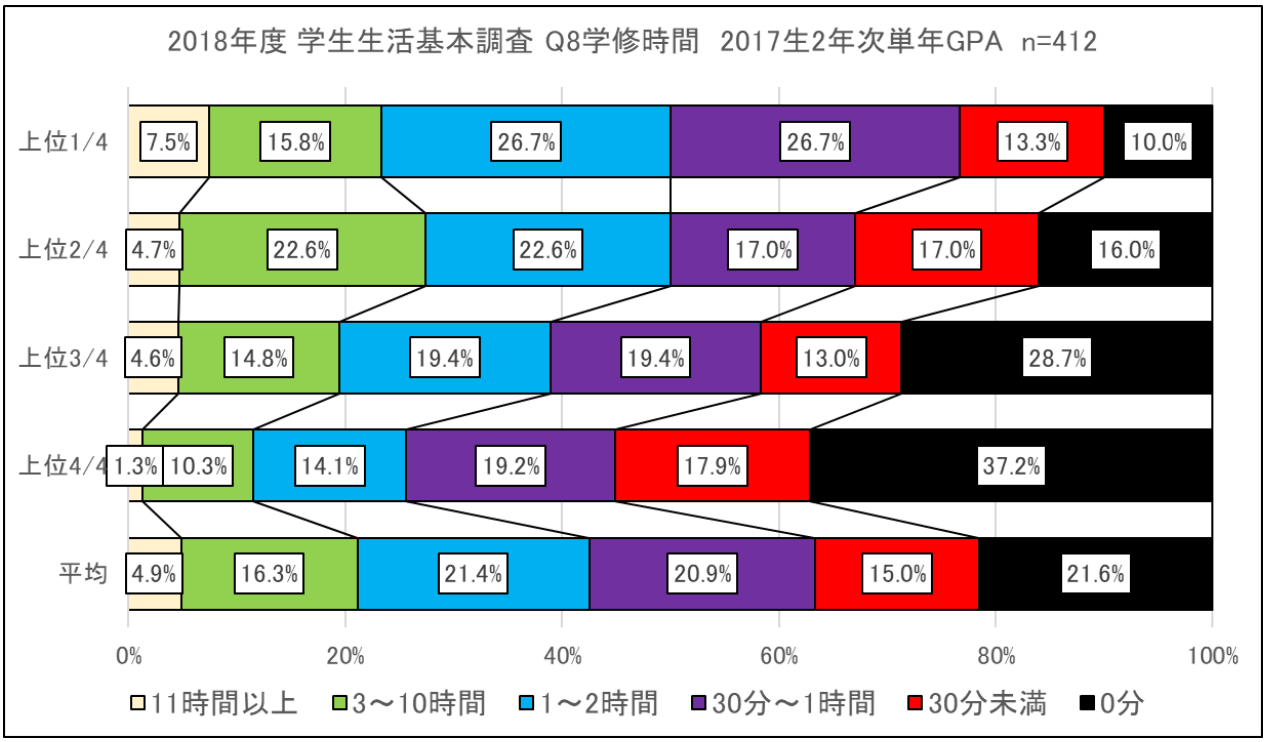
参考）2018 年度調査対象者における 1 年次ＧＰＡ順位別



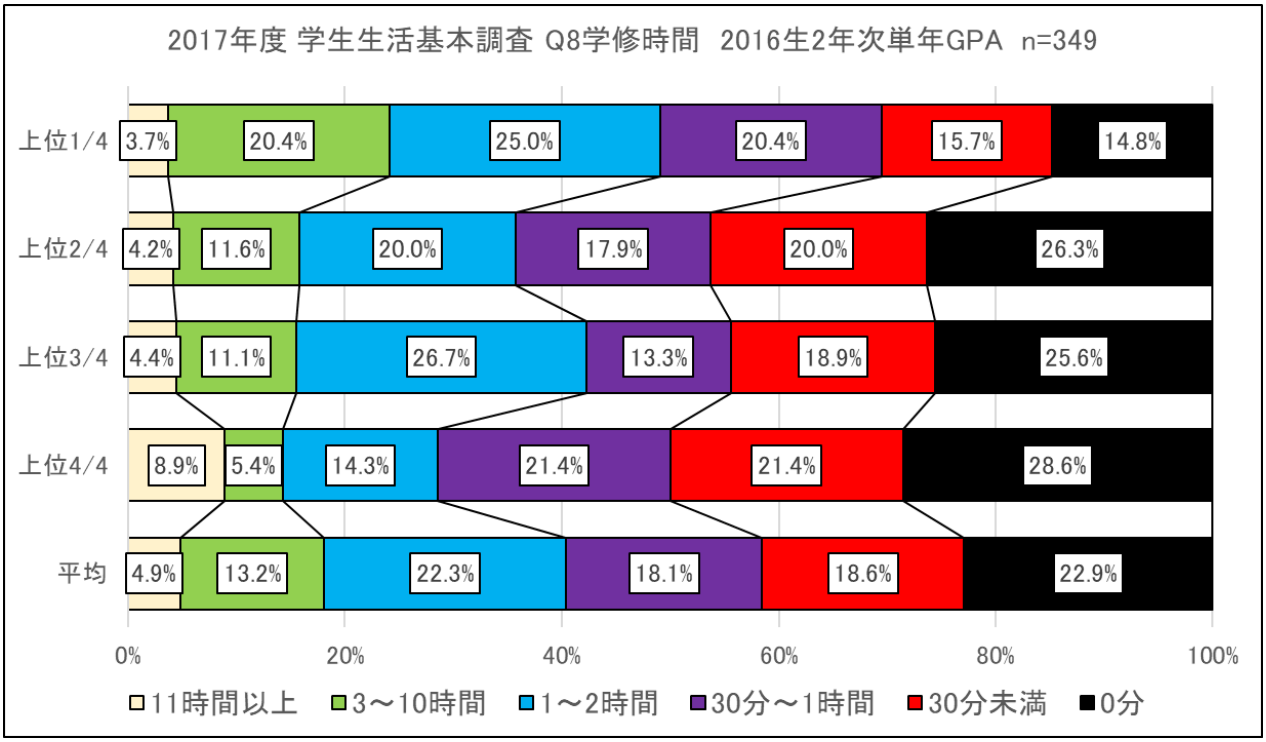
② ２年次

2 年次におけるＧＰＡ順位については、2 年次単年度と 1.2 年次累計について集計した。1 年次に成績の芳しくなかった学生が退学している場合があることから、1 年次に比べて、よりＧＰＡ順位に沿った結果となっている。前年度との比較では「11 時間以上」の回答は上位 4/4 の割合が一番高くなっていることが相違点として挙げられる。なお、母数は 1/4 が 119 名、2/4 が 110 名、3/4 が 97 名、4/4 が 86 名である。

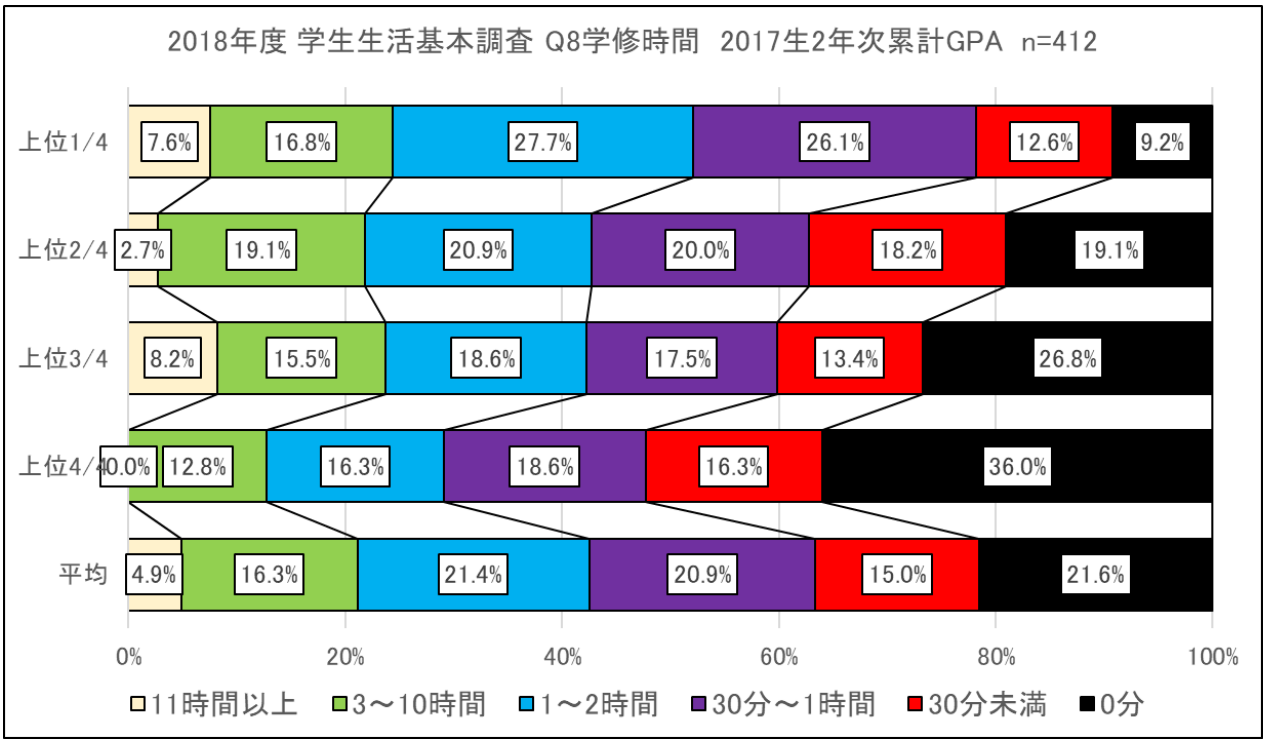
また、累計ＧＰＡ順位についても単年度ＧＰＡ順位と大きな傾向の差は見られない。

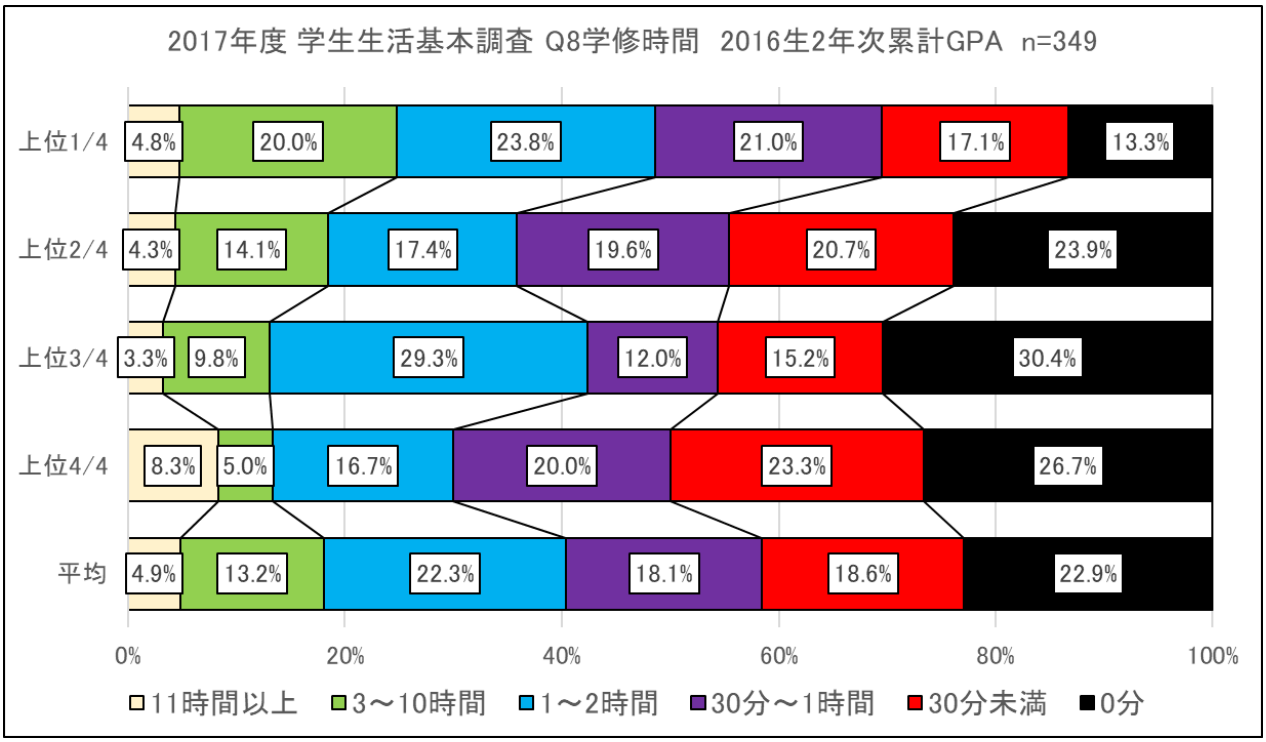


参考）2017 年度調査



参考）２年次終了時点の累計ＧＰＡ順位別

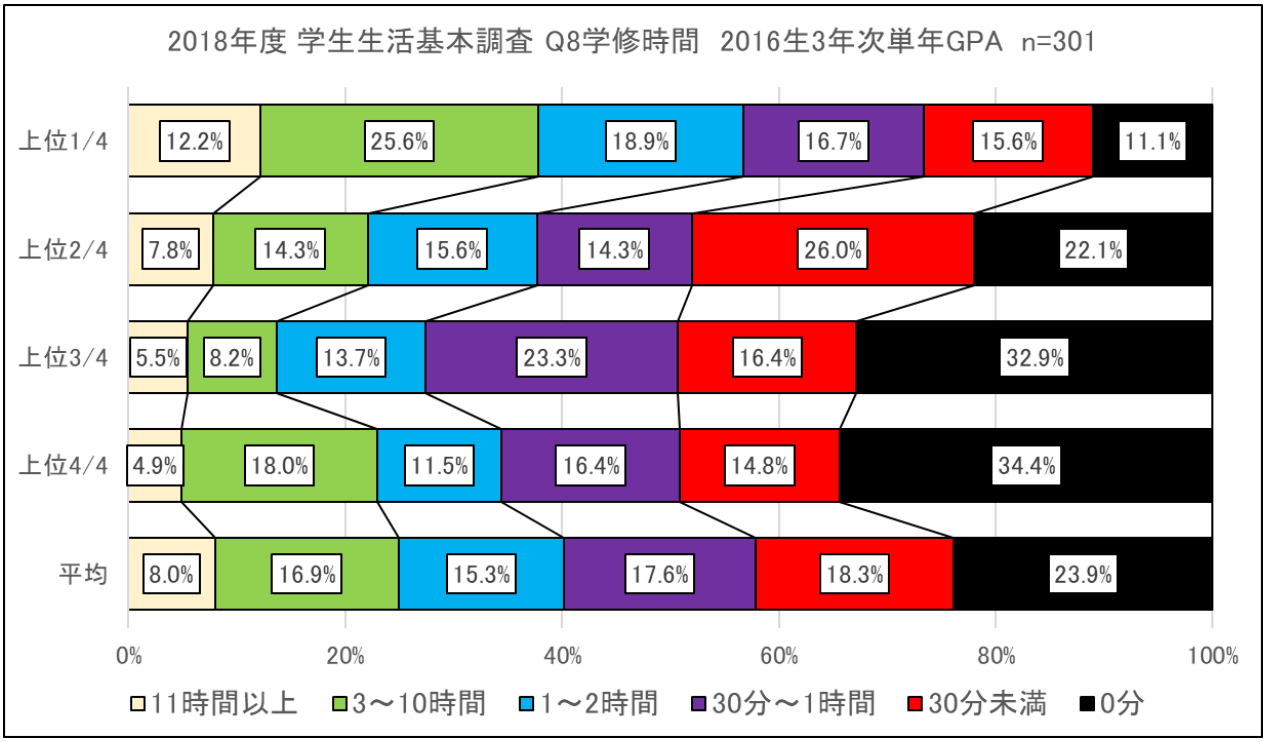




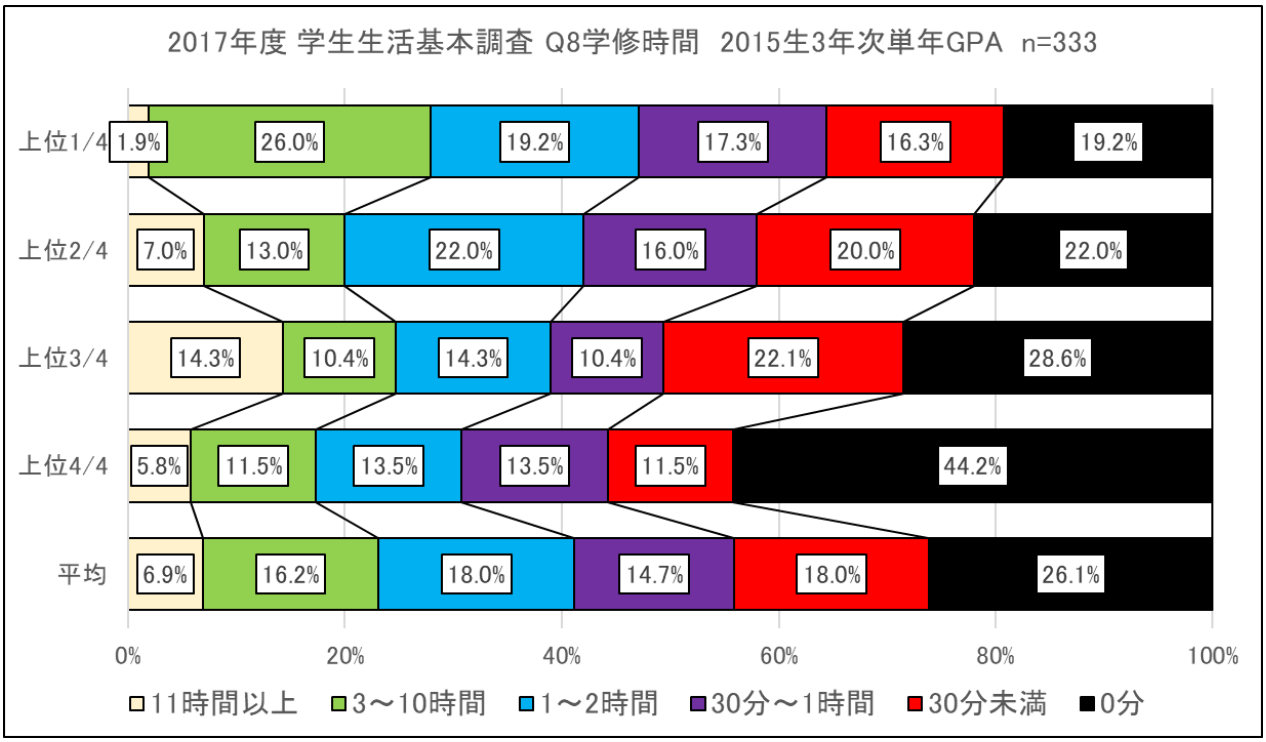
③　３年次

2 年次と同様に 3 年次単年度と 1～3 年次累計について行った。2018 年度調査については、ＧＰＡ順位と授業外学修時間は比例しているが、2017 年度調査については「11 時間以上」の割合について、上位 3/4 が他の区分の倍以上のスコアとなった。しかしながら「2 時間以下」の回答を合わせてみれば、ＧＰＡ順位と沿った結果になっていると言える。

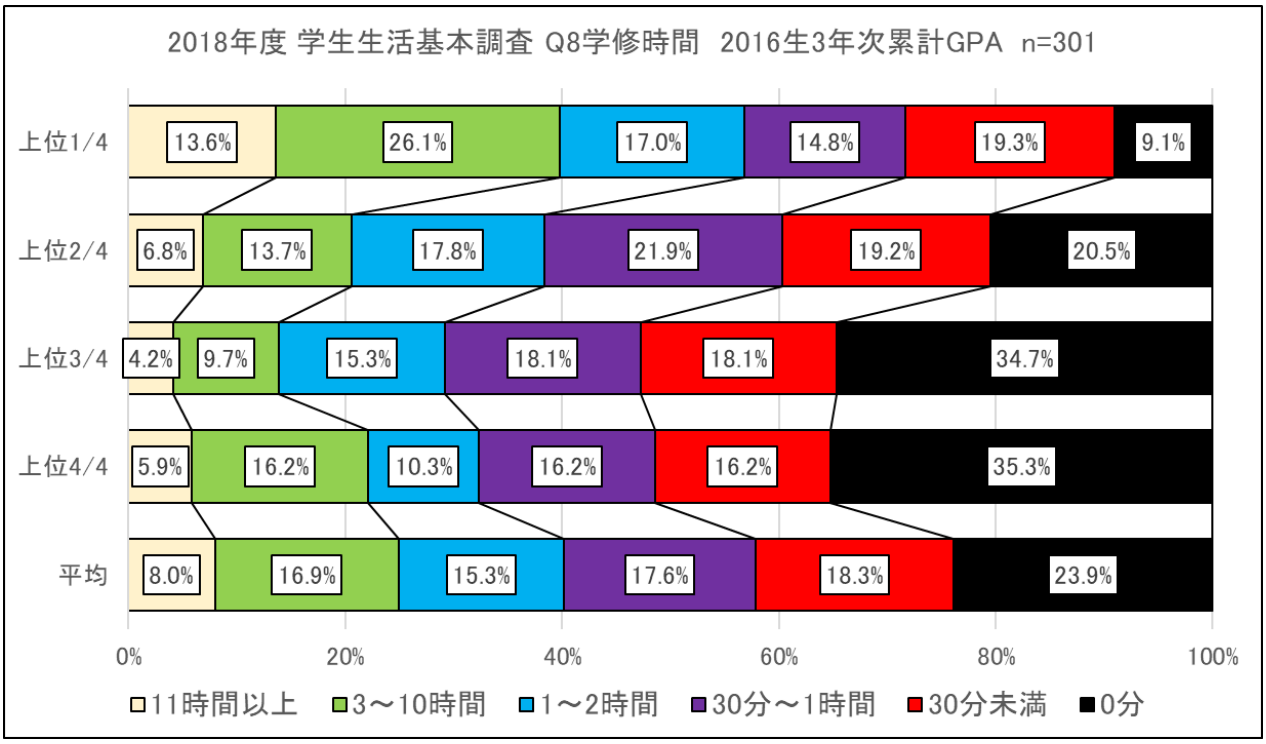
なお、母数は 1/4 が 88 名、2/4 が 73 名、3/4 が 72 名、4/4 が 68 名であるが、1.2 年次よりは差が小さくなっている。

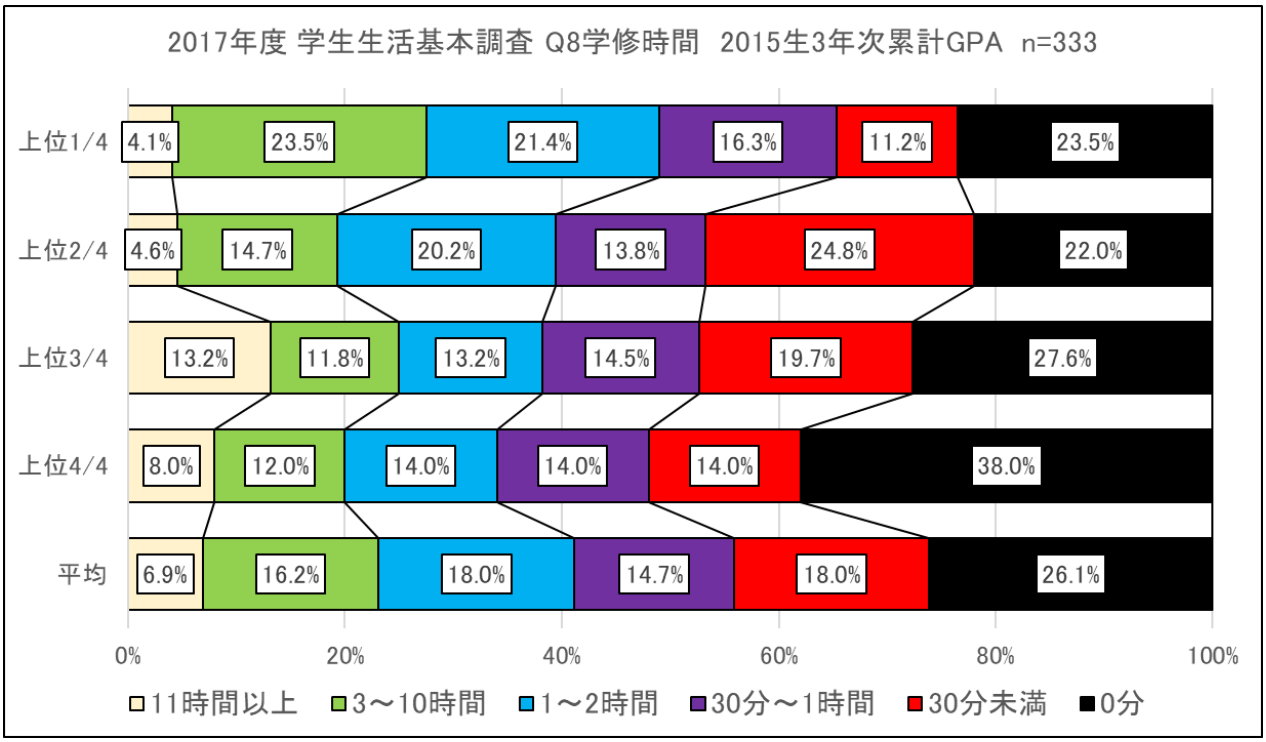


参考）2017 年度調査



参考）３年次終了時点の累計ＧＰＡ順位別

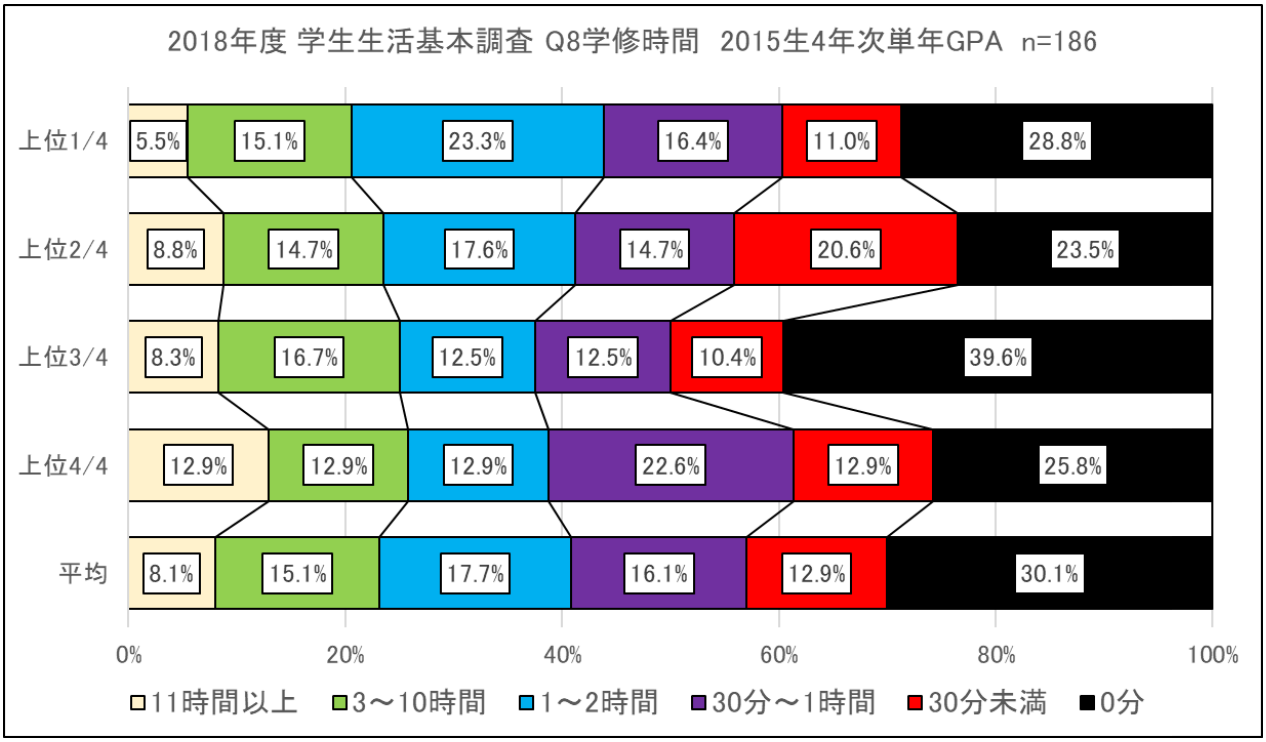




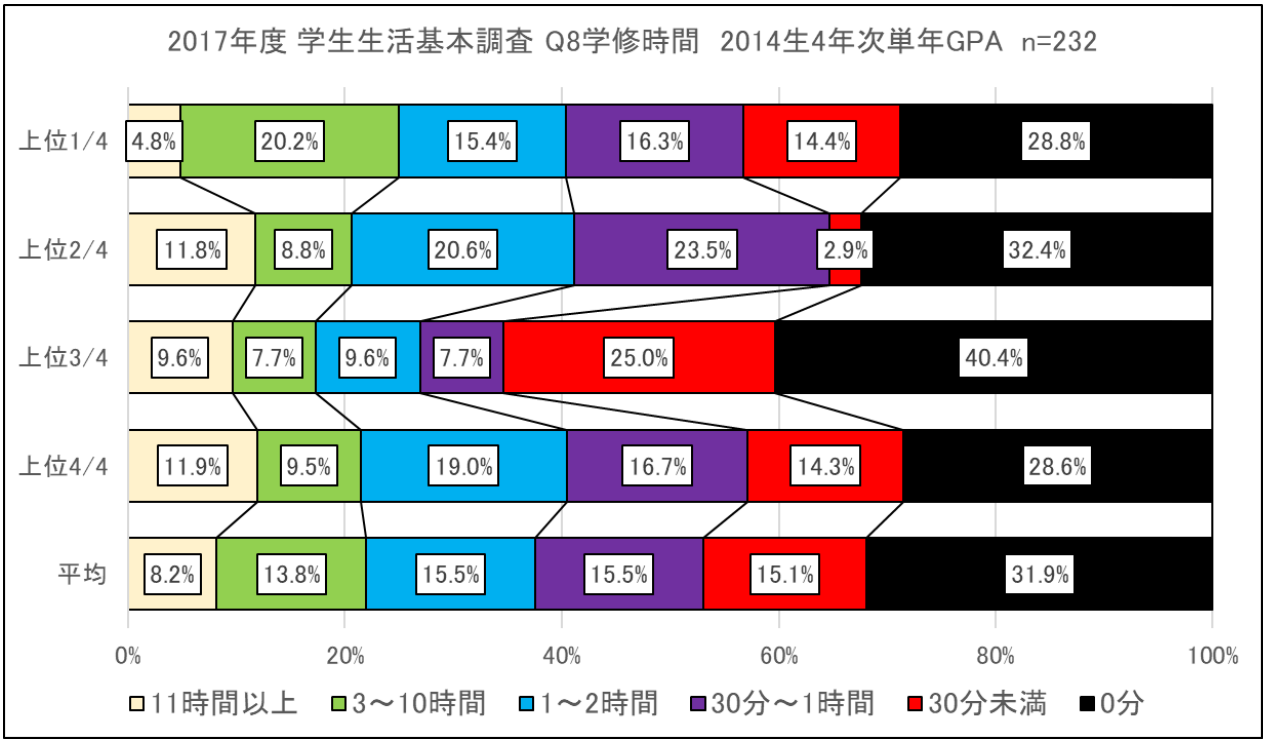
④　４年次

2.3 年次生と同様に 4 年次単年度と 1～4 年次累計について行った。4 年次については卒業論文やゼミ研究があるものの、4 年次演習 4 単位のみの受講者も多いこと、累計ＧＰＡ順位については成績下位者ほど多くの科目を履修している場合があることから、必ずしもＧＰＡ順位と比例してはおらず、また下位年次に比べて学修時間の多い学生の割合がやや高いことが挙げられる。

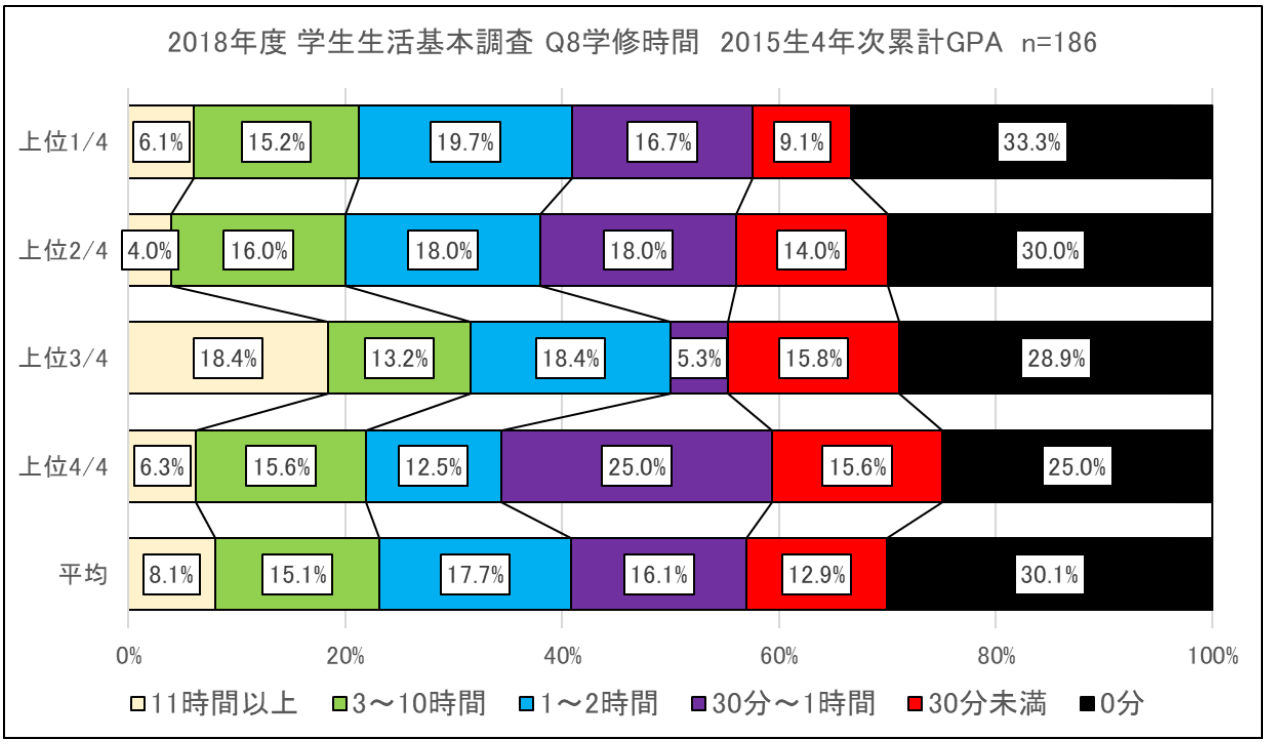
なお、母数は 1/4 が 66 名、2/4 が 50 名、3/4 が 38 名、4/4 が 32 名であり、1.2 年次と同様、回答数に差が生じている。

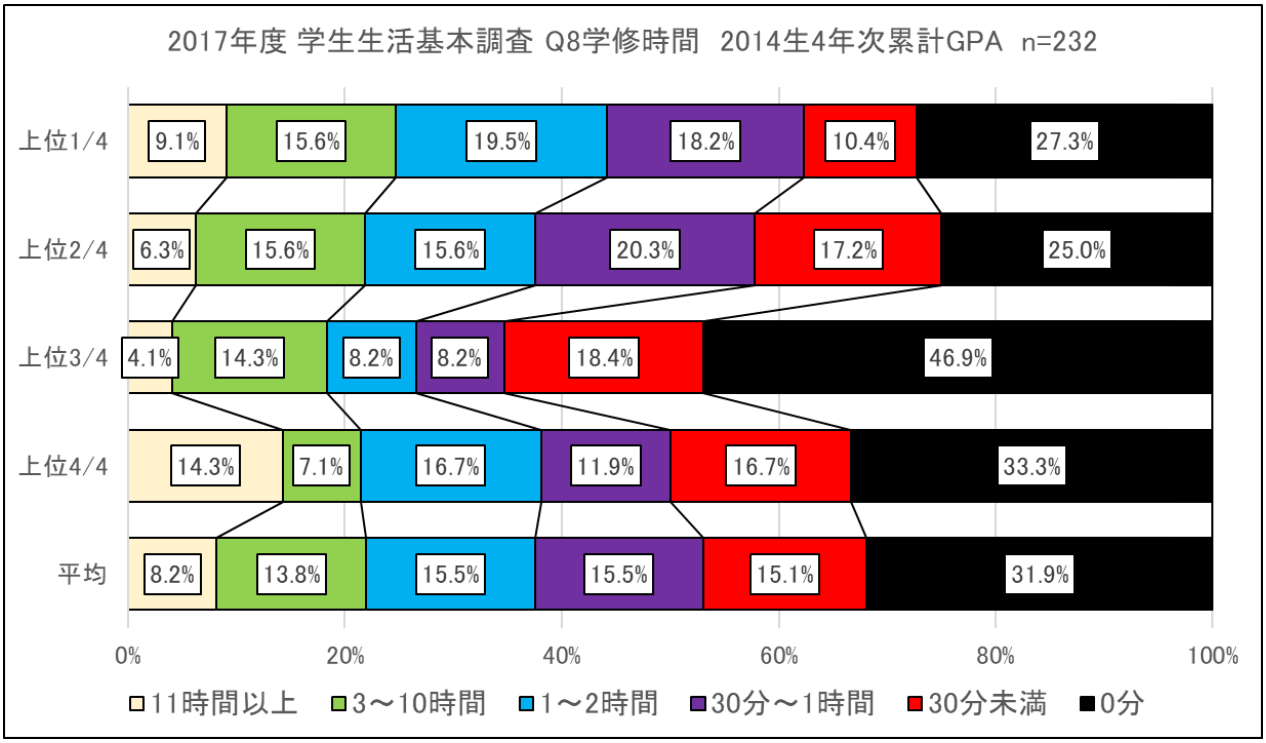


参考）2017 年度調査



参考）４年次終了時点の累計ＧＰＡ順位別

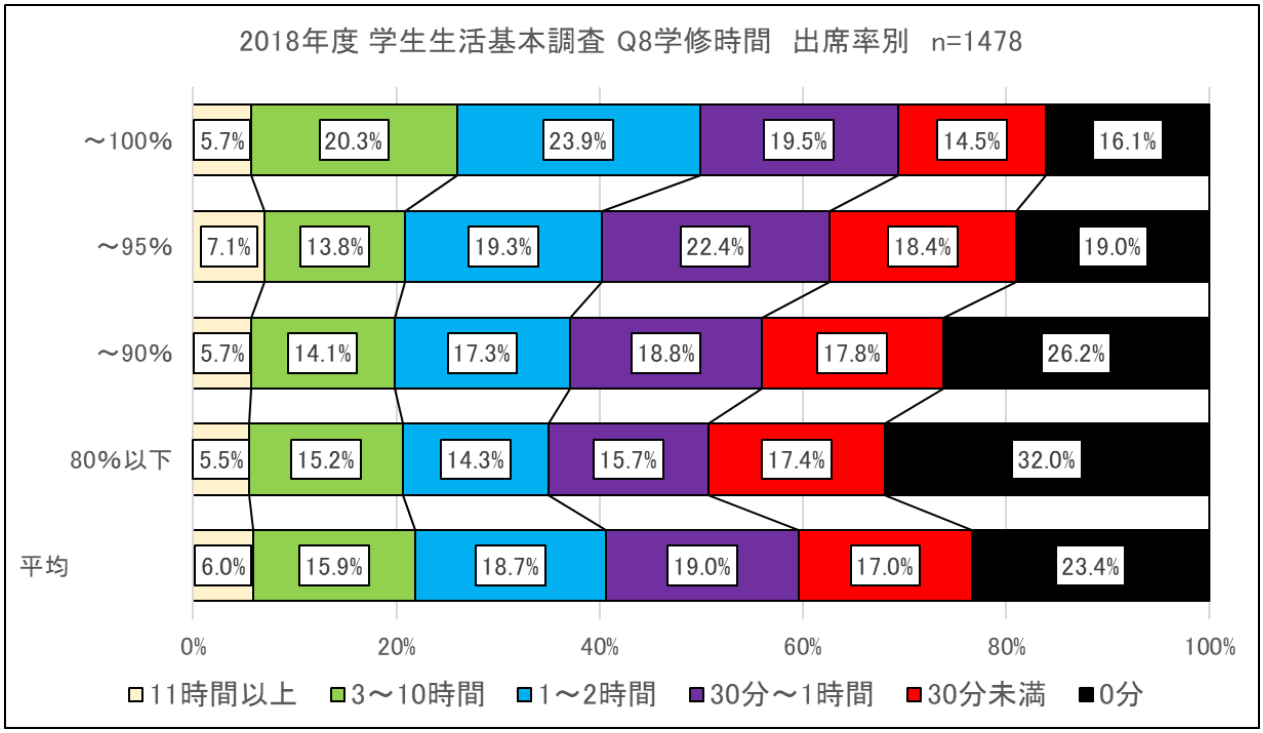




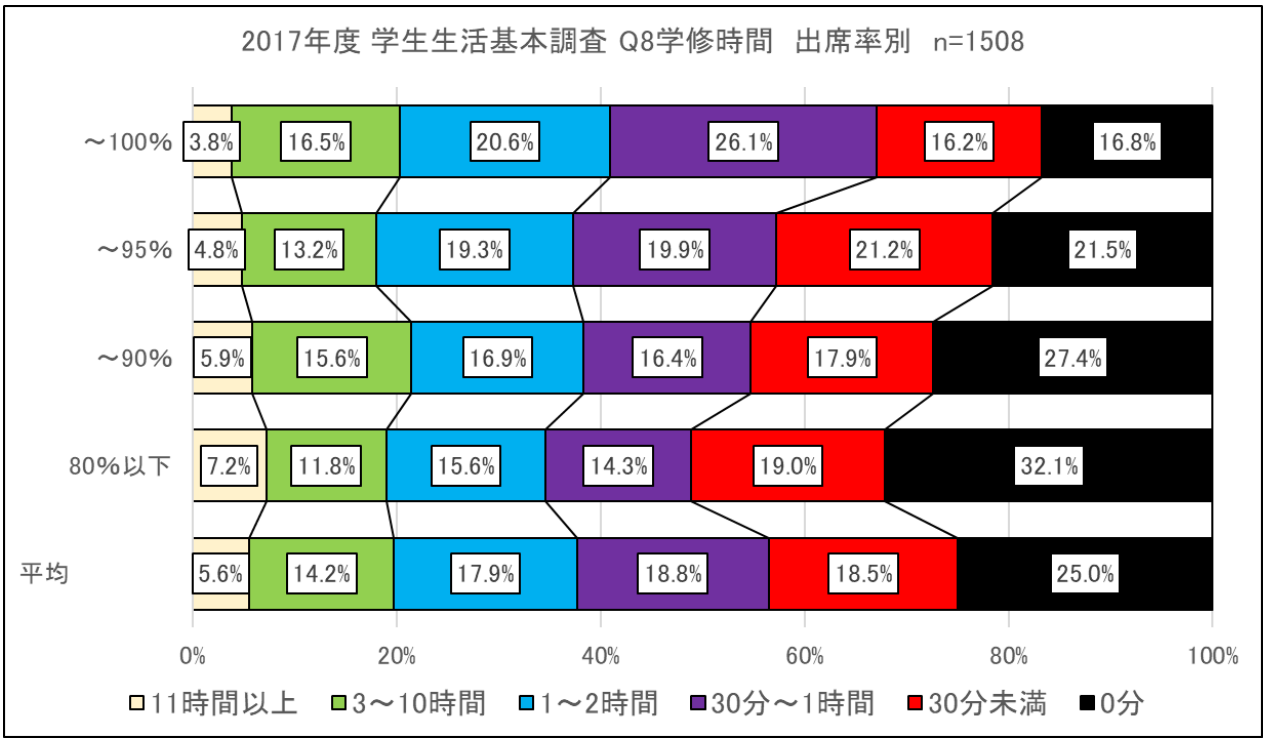
（4）出席率別集計

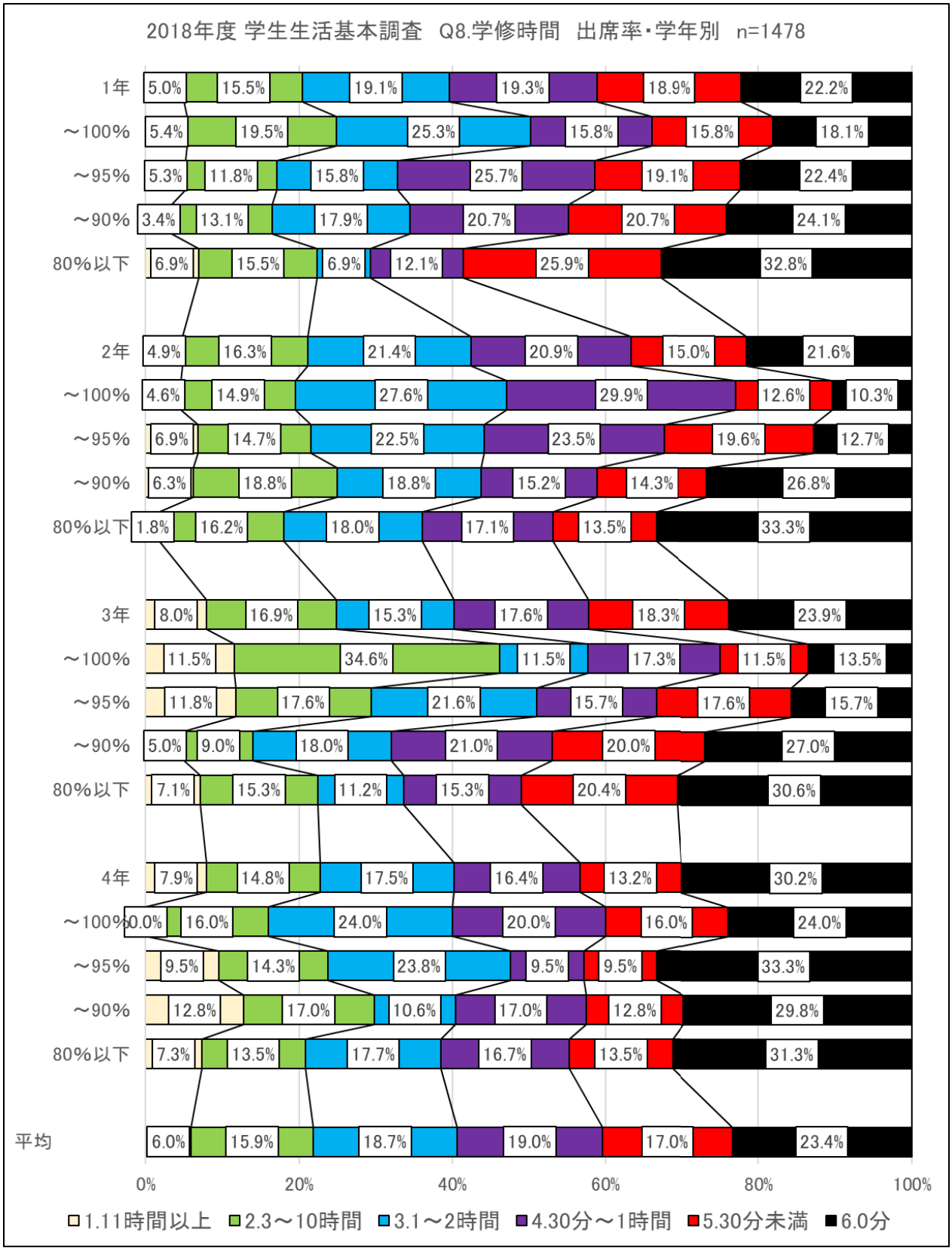
1 年次生の成績については、出席率と強い相関があることが過去の調査で明らかになっていることから出席率についても集計を行った。母数は、95%超～100%が 385 件、90%超～95%が 326 件、80%超～90%が 404 件、80%以下が 363 件である。

全体では、3 時間以上の割合に差は見られないが「0 分」については 1/4 で 16.1%が 4/4 では 32.0%と差が見られ、前年度と比較しても 16.8%と 32.1%と同様の結果が出ている。学年別では 1～3 年次では概ね出席率に比例した結果となっているが、4 年次については出席率による差は見られない。4 年生の平均出席率が 66.7%であることが要因と考えられる。

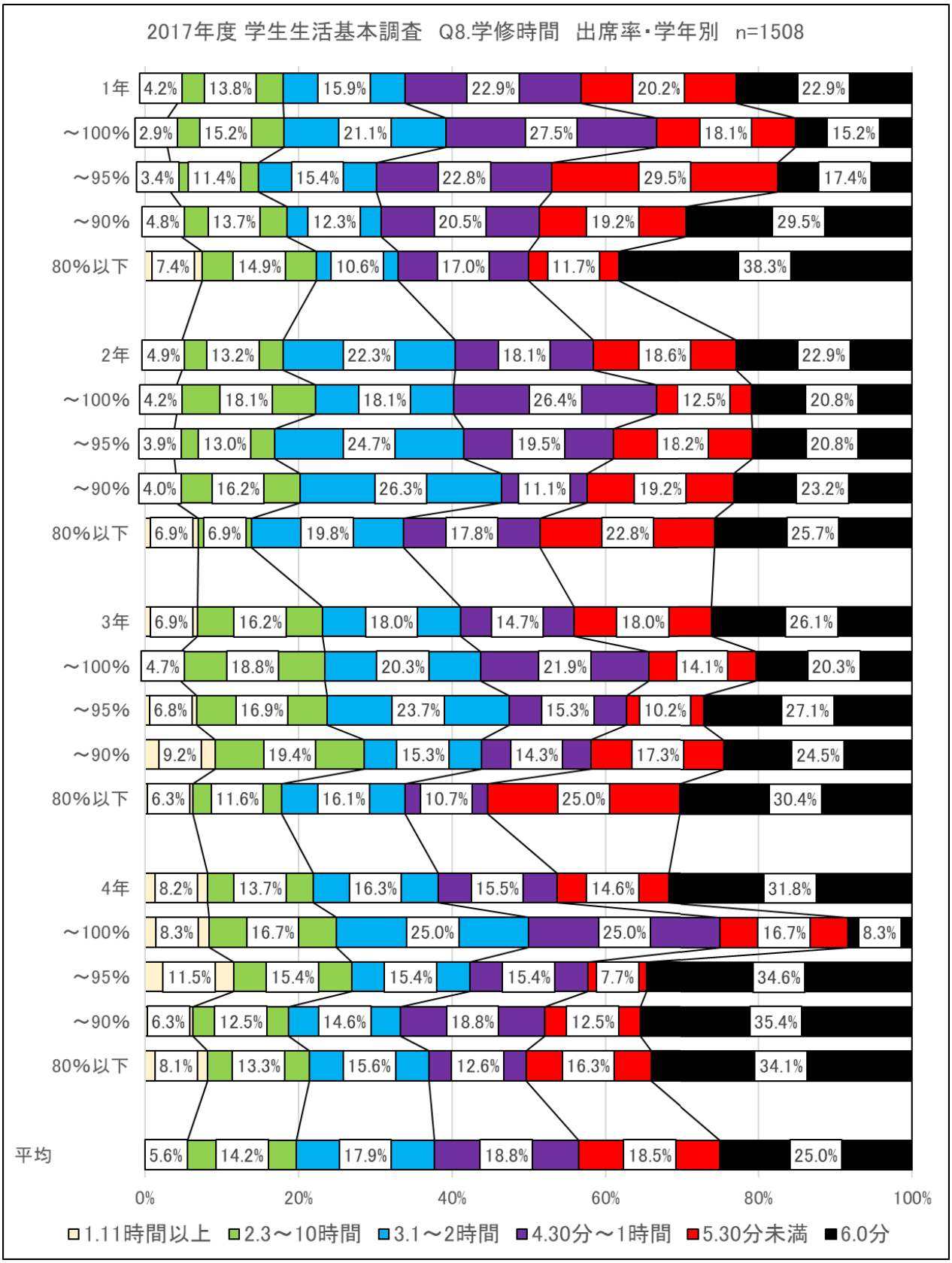


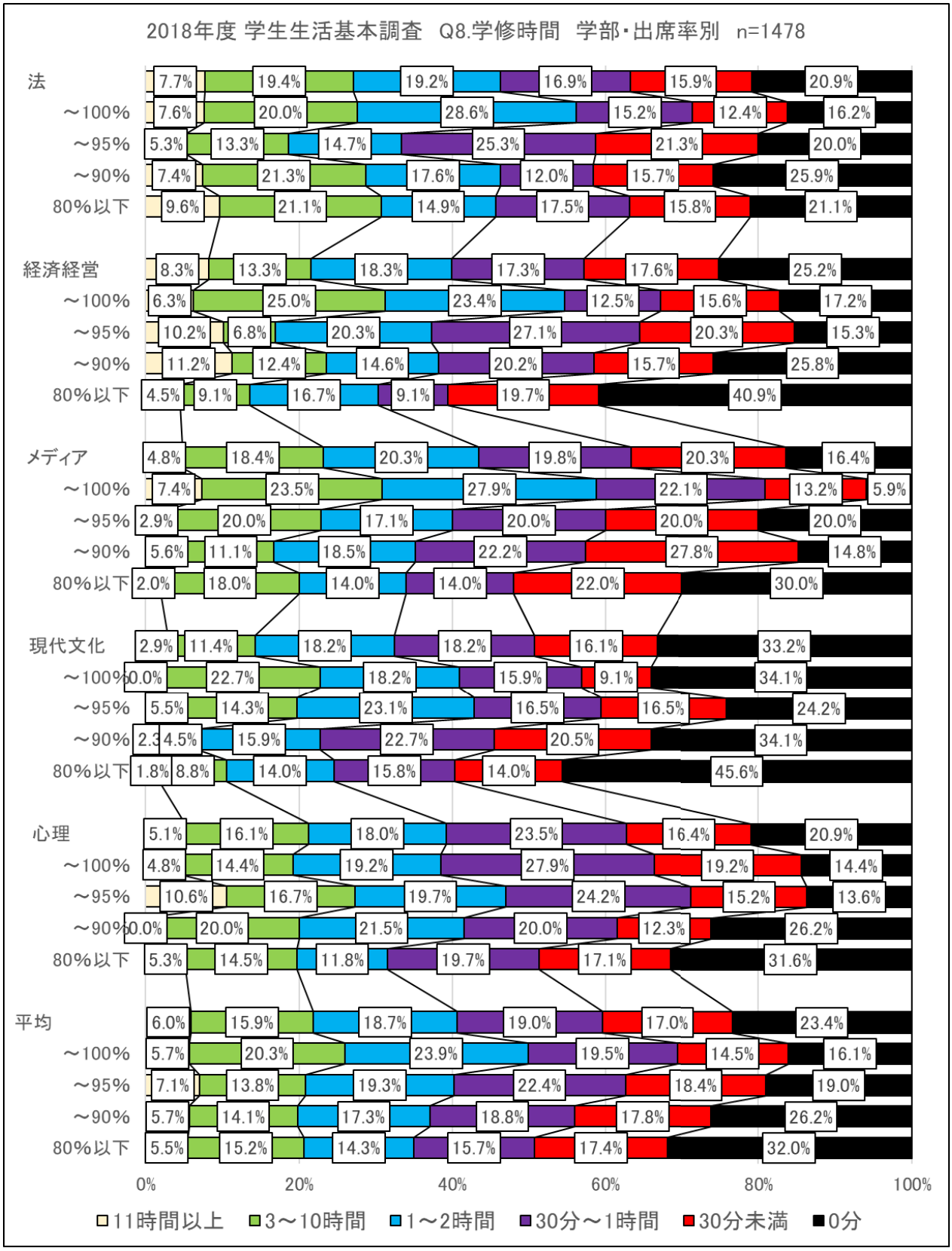
参考）2017 年度調査

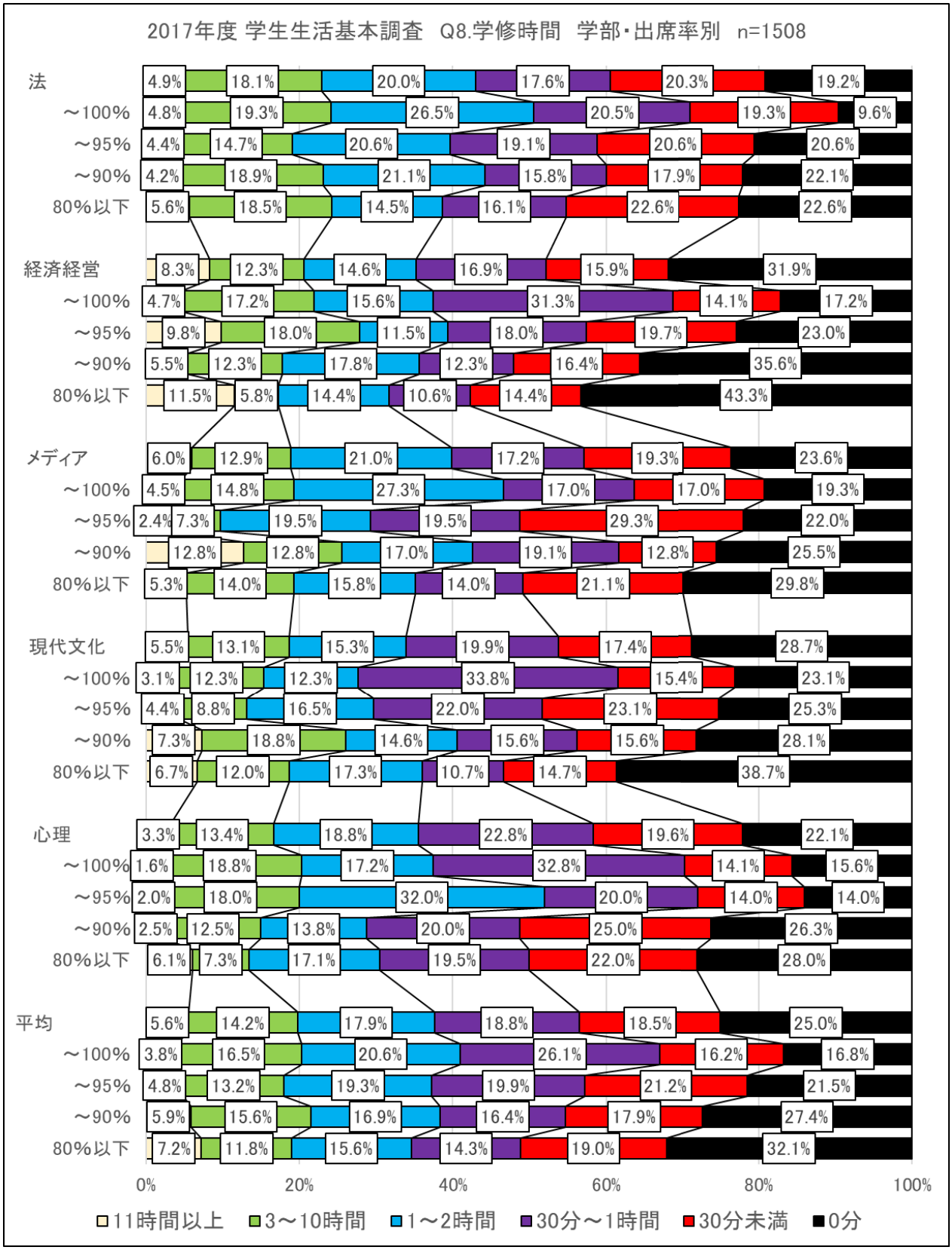



2018年度 学生生活基本調査　Q8.学修時間　出席率・学年別　n=1478
1年
5.0%
15.5%
19.1%
19.3%
18.9%
22.2%
～100%
5.4%
19.5%
25.3%
15.8%
15.8%
18.1%
～95%
5.3%
11.8%
15.8%
25.7%
19.1%
22.4%
～90%
3.4%
13.1%
17.9%
20.7%
20.7%
24.1%
80%以下
6.9%
15.5%
6.9%
12.1%
25.9%
32.8%
2年
4.9%
16.3%
21.4%
20.9%
15.0%
21.6%
～100%
4.6%
14.9%
27.6%
29.9%
12.6%
10.3%
～95%
6.9%
14.7%
22.5%
23.5%
19.6%
12.7%
～90%
6.3%
18.8%
18.8%
15.2%
14.3%
26.8%
80%以下
1.8%
16.2%
18.0%
17.1%
13.5%
33.3%
3年
8.0%
16.9%
15.3%
17.6%
18.3%
23.9%
～100%
11.5%
34.6%
11.5%
17.3%
11.5%
13.5%
～95%
11.8%
17.6%
21.6%
15.7%
17.6%
15.7%
～90%
5.0%
9.0%
18.0%
21.0%
20.0%
27.0%
80%以下
7.1%
15.3%
11.2%
15.3%
20.4%
30.6%
4年
7.9%
14.8%
17.5%
16.4%
13.2%
30.2%
～100%
0.0%
16.0%
24.0%
20.0%
16.0%
24.0%
～95%
9.5%
14.3%
23.8%
9.5%
9.5%
33.3%
～90%
12.8%
17.0%
10.6%
17.0%
12.8%
29.8%
80%以下
7.3%
13.5%
17.7%
16.7%
13.5%
31.3%
平均
6.0%
15.9%
18.7%
19.0%
17.0%
23.4%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.11時間以上
2.3～10時間
3.1～2時間
4.30分～1時間
5.30分未満
6.0分

参考）2017 年度調査


2017年度 学生生活基本調査　Q8.学修時間　出席率・学年別　n=1508
1年
4.2% 13.8% 15.9% 22.9% 20.2% 22.9%
～100%
2.9% 15.2% 21.1% 27.5% 18.1% 15.2%
～95%
3.4% 11.4% 15.4% 22.8% 29.5% 17.4%
～90%
4.8% 13.7% 12.3% 20.5% 19.2% 29.5%
80%以下
7.4% 14.9% 10.6% 17.0% 11.7% 38.3%
2年
4.9% 13.2% 22.3% 18.1% 18.6% 22.9%
～100%
4.2% 18.1% 18.1% 26.4% 12.5% 20.8%
～95%
3.9% 13.0% 24.7% 19.5% 18.2% 20.8%
～90%
4.0% 16.2% 26.3% 11.1% 19.2% 23.2%
80%以下
6.9% 6.9% 19.8% 17.8% 22.8% 25.7%
3年
6.9% 16.2% 18.0% 14.7% 18.0% 26.1%
～100%
4.7% 18.8% 20.3% 21.9% 14.1% 20.3%
～95%
6.8% 16.9% 23.7% 15.3% 10.2% 27.1%
～90%
9.2% 19.4% 15.3% 14.3% 17.3% 24.5%
80%以下
6.3% 11.6% 16.1% 10.7% 25.0% 30.4%
4年
8.2% 13.7% 16.3% 15.5% 14.6% 31.8%
～100%
8.3% 16.7% 25.0% 25.0% 16.7% 8.3%
～95%
11.5% 15.4% 15.4% 15.4% 7.7% 34.6%
～90%
6.3% 12.5% 14.6% 18.8% 12.5% 35.4%
80%以下
8.1% 13.3% 15.6% 12.6% 16.3% 34.1%
平均
5.6% 14.2% 17.9% 18.8% 18.5% 25.0%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.11時間以上
2.3～10時間
3.1～2時間
4.30分～1時間
5.30分未満
6.0分

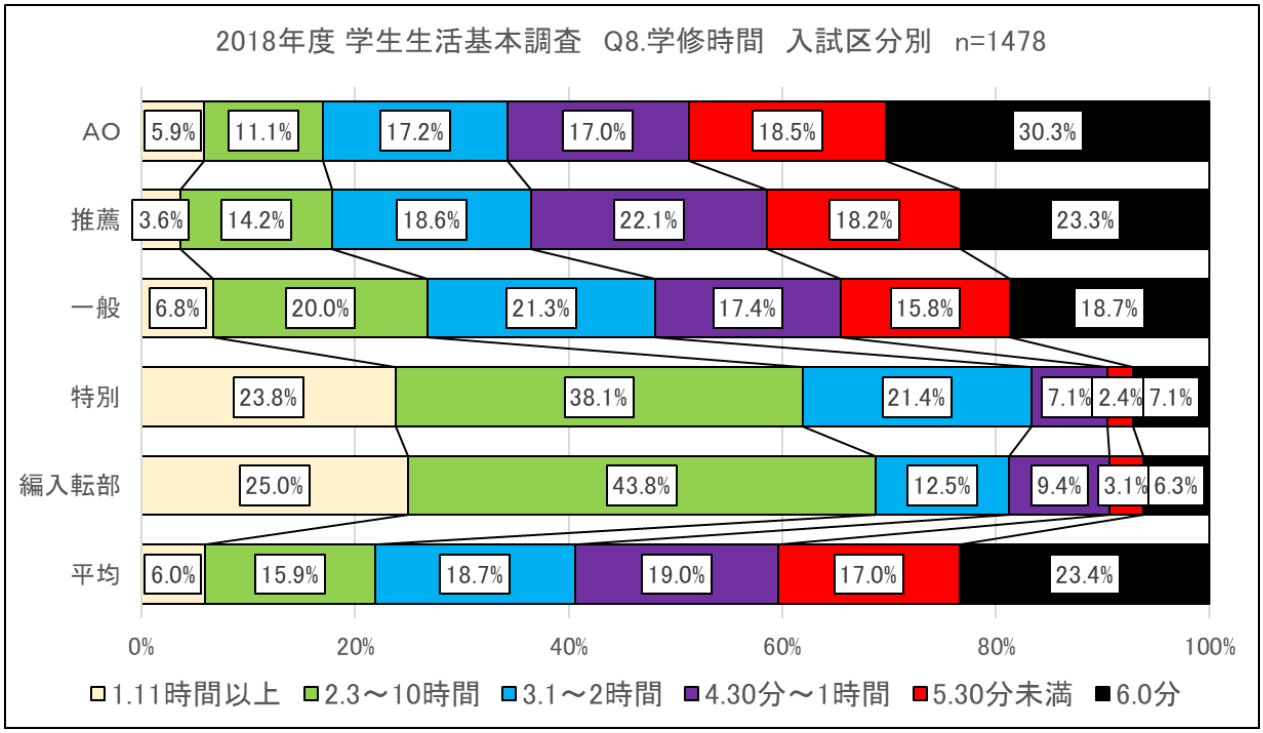

2018年度 学生生活基本調査　Q8.学修時間　学部・出席率別　n=1478
法
7.7% 19.4% 19.2% 16.9% 15.9% 20.9%
～100%
7.6% 20.0% 28.6% 15.2% 12.4% 16.2%
～95%
5.3% 13.3% 14.7% 25.3% 21.3% 20.0%
～90%
7.4% 21.3% 17.6% 12.0% 15.7% 25.9%
80%以下
9.6% 21.1% 14.9% 17.5% 15.8% 21.1%
経済経営
8.3% 13.3% 18.3% 17.3% 17.6% 25.2%
～100%
6.3% 25.0% 23.4% 12.5% 15.6% 17.2%
～95%
10.2% 6.8% 20.3% 27.1% 20.3% 15.3%
～90%
11.2% 12.4% 14.6% 20.2% 15.7% 25.8%
80%以下
4.5% 9.1% 16.7% 9.1% 19.7% 40.9%
メディア
4.8% 18.4% 20.3% 19.8% 20.3% 16.4%
～100%
7.4% 23.5% 27.9% 22.1% 13.2% 5.9%
～95%
2.9% 20.0% 17.1% 20.0% 20.0% 20.0%
～90%
5.6% 11.1% 18.5% 22.2% 27.8% 14.8%
80%以下
2.0% 18.0% 14.0% 14.0% 22.0% 30.0%
現代文化
2.9% 11.4% 18.2% 18.2% 16.1% 33.2%
～100%
0.0% 22.7% 18.2% 15.9% 9.1% 34.1%
～95%
5.5% 14.3% 23.1% 16.5% 16.5% 24.2%
～90%
2.3 4.5% 15.9% 22.7% 20.5% 34.1%
80%以下
1.8% 8.8% 14.0% 15.8% 14.0% 45.6%
心理
5.1% 16.1% 18.0% 23.5% 16.4% 20.9%
～100%
4.8% 14.4% 19.2% 27.9% 19.2% 14.4%
～95%
10.6% 16.7% 19.7% 24.2% 15.2% 13.6%
～90%
0.0% 20.0% 21.5% 20.0% 12.3% 26.2%
80%以下
5.3% 14.5% 11.8% 19.7% 17.1% 31.6%
平均
6.0% 15.9% 18.7% 19.0% 17.0% 23.4%
～100%
5.7% 20.3% 23.9% 19.5% 14.5% 16.1%
～95%
7.1% 13.8% 19.3% 22.4% 18.4% 19.0%
～90%
5.7% 14.1% 17.3% 18.8% 17.8% 26.2%
80%以下
5.5% 15.2% 14.3% 15.7% 17.4% 32.0%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
11時間以上
3～10時間
1～2時間
30分～1時間
30分未満
0分


2017年度 学生生活基本調査　Q8.学修時間　学部・出席率別　n=1508
法
4.9% 18.1% 20.0% 17.6% 20.3% 19.2%
～100%
4.8% 19.3% 26.5% 20.5% 19.3% 9.6%
～95%
4.4% 14.7% 20.6% 19.1% 20.6% 20.6%
～90%
4.2% 18.9% 21.1% 15.8% 17.9% 22.1%
80%以下
5.6% 18.5% 14.5% 16.1% 22.6% 22.6%
経済経営
8.3% 12.3% 14.6% 16.9% 15.9% 31.9%
～100%
4.7% 17.2% 15.6% 31.3% 14.1% 17.2%
～95%
9.8% 18.0% 11.5% 18.0% 19.7% 23.0%
～90%
5.5% 12.3% 17.8% 12.3% 16.4% 35.6%
80%以下
11.5% 5.8% 14.4% 10.6% 14.4% 43.3%
メディア
6.0% 12.9% 21.0% 17.2% 19.3% 23.6%
～100%
4.5% 14.8% 27.3% 17.0% 17.0% 19.3%
～95%
2.4% 7.3% 19.5% 19.5% 29.3% 22.0%
～90%
12.8% 12.8% 17.0% 19.1% 12.8% 25.5%
80%以下
5.3% 14.0% 15.8% 14.0% 21.1% 29.8%
現代文化
5.5% 13.1% 15.3% 19.9% 17.4% 28.7%
～100%
3.1% 12.3% 12.3% 33.8% 15.4% 23.1%
～95%
4.4% 8.8% 16.5% 22.0% 23.1% 25.3%
～90%
7.3% 18.8% 14.6% 15.6% 15.6% 28.1%
80%以下
6.7% 12.0% 17.3% 10.7% 14.7% 38.7%
心理
3.3% 13.4% 18.8% 22.8% 19.6% 22.1%
～100%
1.6% 18.8% 17.2% 32.8% 14.1% 15.6%
～95%
2.0% 18.0% 32.0% 20.0% 14.0% 14.0%
～90%
2.5% 12.5% 13.8% 20.0% 25.0% 26.3%
80%以下
6.1% 7.3% 17.1% 19.5% 22.0% 28.0%
平均
5.6% 14.2% 17.9% 18.8% 18.5% 25.0%
～100%
3.8% 16.5% 20.6% 26.1% 16.2% 16.8%
～95%
4.8% 13.2% 19.3% 19.9% 21.2% 21.5%
～90%
5.9% 15.6% 16.9% 16.4% 17.9% 27.4%
80%以下
7.2% 11.8% 15.6% 14.3% 19.0% 32.1%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
11時間以上
3～10時間
1～2時間
30分～1時間
30分未満
0分

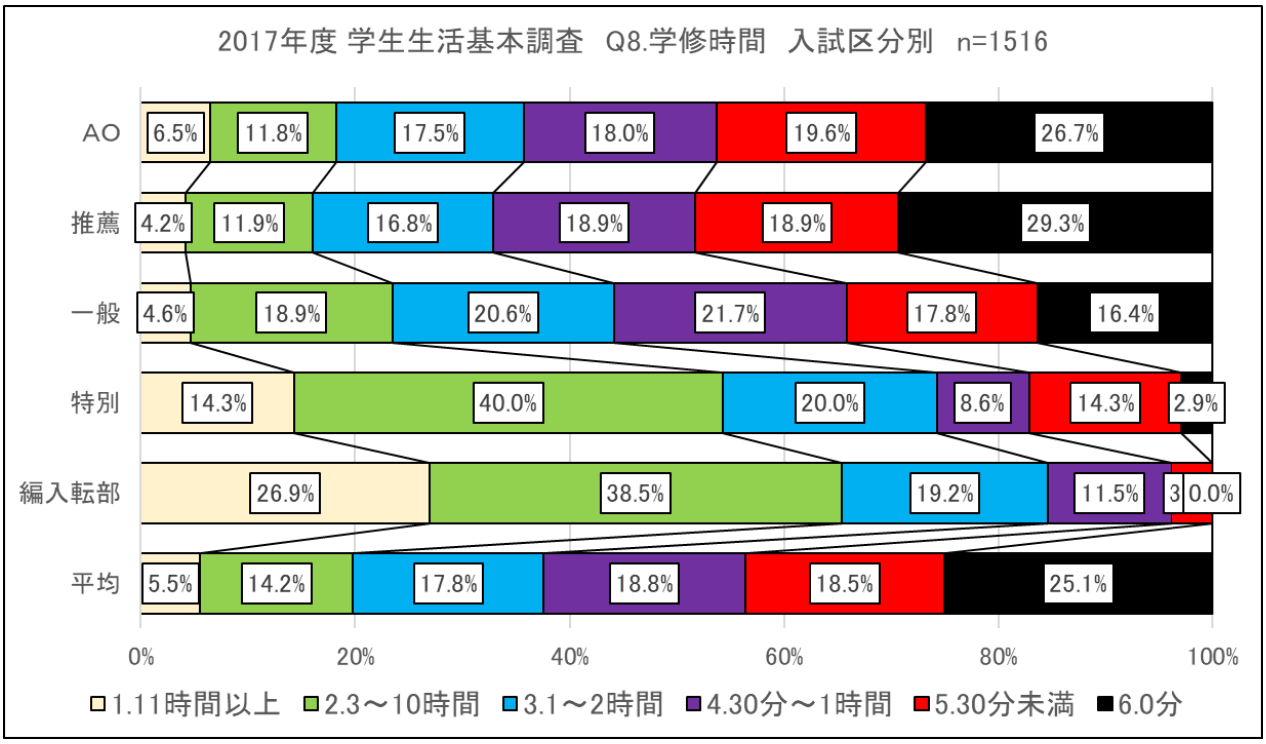
（5）入試区分別集計

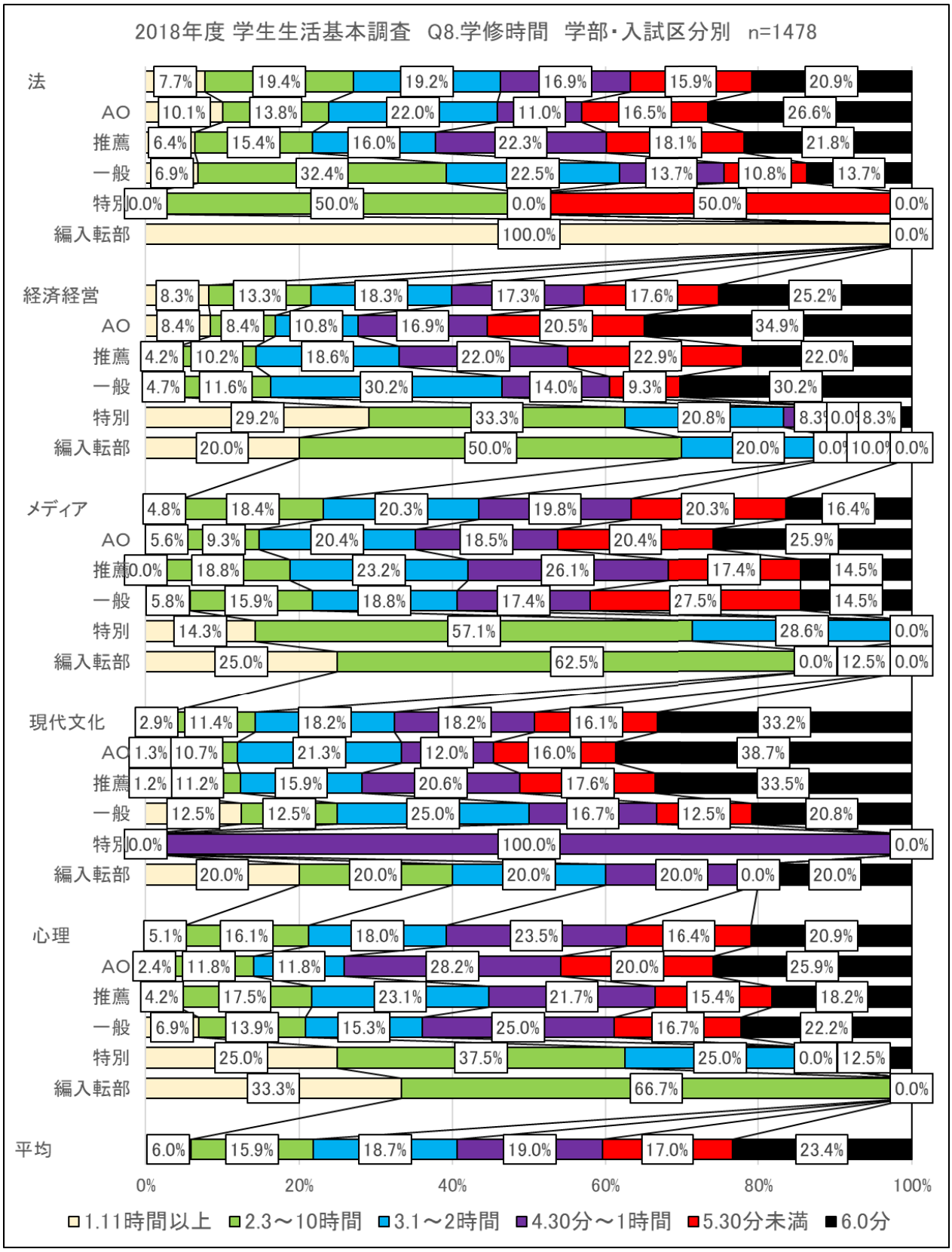
入試区分毎の結果については、ほぼ全員が留学生である特別入試及び編入転部者の学修時間が他の区分に比べ長いことが挙げられる。入試区分では一般入試で 1～10 時間の割合が高く、ＡＯ入試では「0 時間」の割合が高くなった。前年度との比較では、特別及び編入転部、一般入試については同様の結果であるものの、ＡＯ入試については、推薦とほぼ同様の分布となっている。

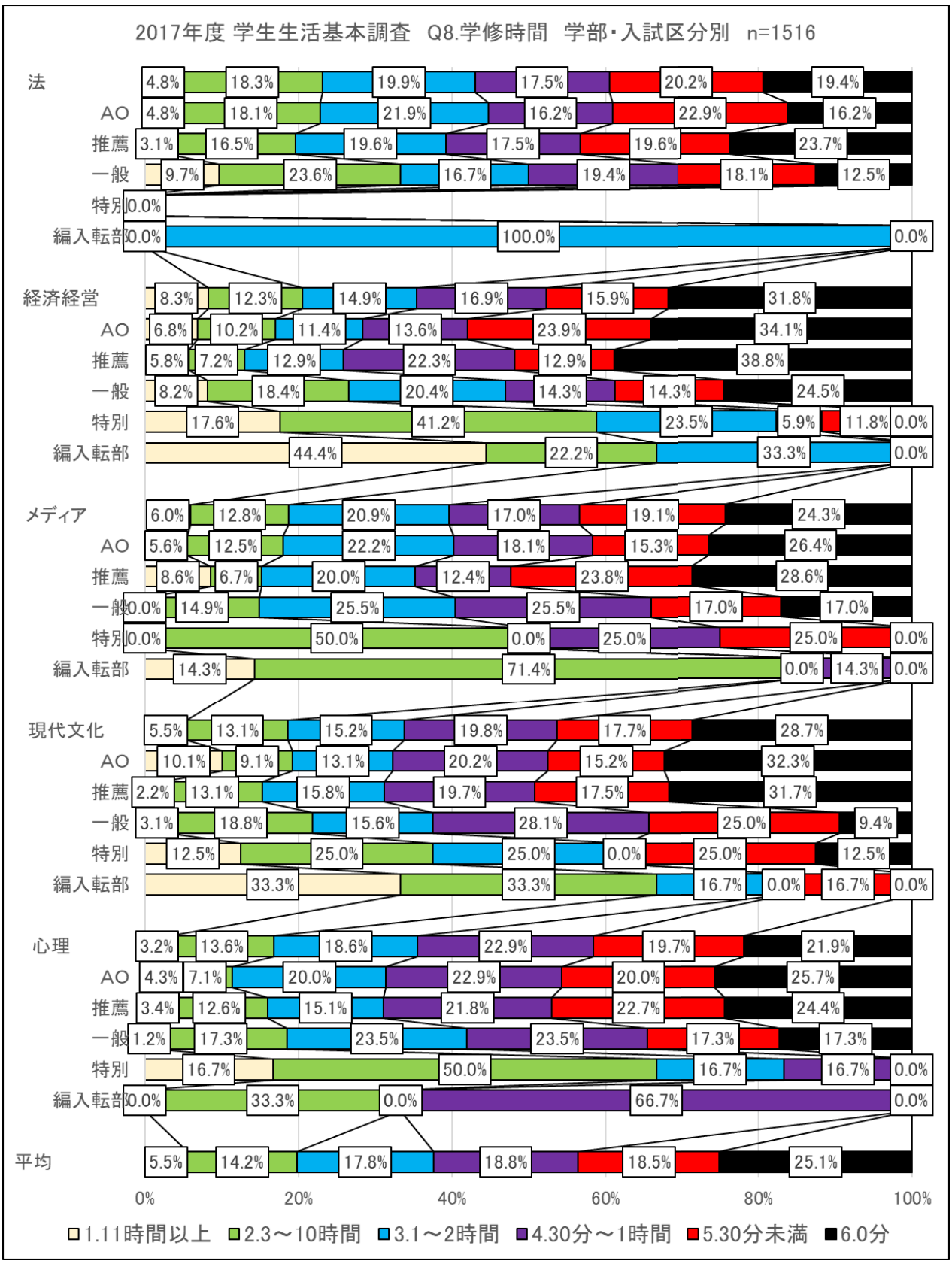
学部別では現代文化学部における推薦、経済経営学部のＡＯ入試の学修時間の少なさが特に目立つ。



参考）2017 年度調査




2018年度 学生生活基本調査　Q8.学修時間　学部・入試区分別　n=1478
法
AO
推薦
一般
特別
編入転部
経済経営
メディア
現代文化
心理
平均
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.11時間以上
2.3～10時間
3.1～2時間
4.30分～1時間
5.30分未満
6.0分


2017年度 学生生活基本調査　Q8.学修時間　学部・入試区分別　n=1516
法
AO
推薦
一般
特別
編入転部
4.8% 18.3% 19.9% 17.5% 20.2% 19.4%
4.8% 18.1% 21.9% 16.2% 22.9% 16.2%
3.1% 16.5% 19.6% 17.5% 19.6% 23.7%
9.7% 23.6% 16.7% 19.4% 18.1% 12.5%
0.0%
0.0% 100.0% 0.0%
経済経営
AO
推薦
一般
特別
編入転部
8.3% 12.3% 14.9% 16.9% 15.9% 31.8%
6.8% 10.2% 11.4% 13.6% 23.9% 34.1%
5.8% 7.2% 12.9% 22.3% 12.9% 38.8%
8.2% 18.4% 20.4% 14.3% 14.3% 24.5%
17.6% 41.2% 23.5% 5.9% 11.8% 0.0%
44.4% 22.2% 33.3% 0.0%
メディア
AO
推薦
一般
特別
編入転部
6.0% 12.8% 20.9% 17.0% 19.1% 24.3%
5.6% 12.5% 22.2% 18.1% 15.3% 26.4%
8.6% 6.7% 20.0% 12.4% 23.8% 28.6%
0.0% 14.9% 25.5% 25.5% 17.0% 17.0%
0.0% 50.0% 0.0% 25.0% 25.0% 0.0%
14.3% 71.4% 0.0% 14.3% 0.0%
現代文化
AO
推薦
一般
特別
編入転部
5.5% 13.1% 15.2% 19.8% 17.7% 28.7%
10.1% 9.1% 13.1% 20.2% 15.2% 32.3%
2.2% 13.1% 15.8% 19.7% 17.5% 31.7%
3.1% 18.8% 15.6% 28.1% 25.0% 9.4%
12.5% 25.0% 25.0% 0.0% 25.0% 12.5%
33.3% 33.3% 16.7% 0.0% 16.7% 0.0%
心理
AO
推薦
一般
特別
編入転部
3.2% 13.6% 18.6% 22.9% 19.7% 21.9%
4.3% 7.1% 20.0% 22.9% 20.0% 25.7%
3.4% 12.6% 15.1% 21.8% 22.7% 24.4%
1.2% 17.3% 23.5% 23.5% 17.3% 17.3%
16.7% 50.0% 16.7% 16.7% 0.0%
0.0% 33.3% 0.0% 66.7% 0.0%
平均
5.5% 14.2% 17.8% 18.8% 18.5% 25.1%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.11時間以上
2.3～10時間
3.1～2時間
4.30分～1時間
5.30分未満
6.0分

（6）個人別学修時間の推移

2017 年度調査、2018 年度調査ともに設問 8 において有効回答を得た 572 名について、学修時間の推移を確認した。

1 年から 2 年、2 年から 3 年では学修時間増を回答した者の方が多いものの、3 年から 4 年では学修時間が減少した者の方が多い。

また、選択肢の幅については、全体の 83.3%がプラスマイナス 2 選択肢の中に納まっていた。

学年	有効回答者数	時間増	同一	時間減
1 年→2 年	295 名	107 名 (36.3%)	110 名 (37.3%)	78 名 (26.4%)
2 年→3 年	162 名	59 名 (36.4%)	50 名 (30.9%)	53 名 (32.7%)
3 年→4 年	113 名	32 名 (28.3%)	41 名 (36.3%)	40 名 (35.4%)
4 年→過年度	2 名	1 名 (50.0%)	0 名	1 名 (50.0%)
計	572 名	199 名 (34.8%)	201 名 (35.1%)	172 名 (30.1%)

４．まとめと改善案

2017 年度の学生生活基本調査に学修行動に関する設問を追加した際に、1 日単位の学修時間から 1 週単位の学修時間を問う設問に改めるとともに、「授業以外の学修例」を設けて、回答する学生がイメージをし易いように工夫をしたところだが、履修科目数に比べ、授業外の学修時間が少ないという結果となった。

学部別では現代文化学部、学年別では 1 年次生、ＧＰＡ順位別では順位の低い者、出席率別では 1 から 3 年次生について出席率の低い者、入試区分別ではＡＯ入試で時間数が少なくなっている。

シラバスにおいて授業外学習についての項目が設けられているが、授業形態に応じて、授業外学習を促すような予習復習、課題の設定等を工夫する余地があると思われる。

以上